



雲仙市

UNZEN City Assembly

開かれた市政推進のためのコミュニケーション誌

議会だより

3号

平成18年5月1日 発行



写真：雲仙市愛野町／馬鈴薯畑

長崎県の秋植馬鈴薯は、植栽面積と収穫量が
全国一でその中でも雲仙市が際立っています。

P2 奥村市政のここが聞きたい

P28 常任委員会報告

P31 審議案件と結果／討論

P32 決議／編集後記

一般質問

26議員が登壇



おおくぼ まさみ
大久保 正美
議員 吾妻町

諫早湾干拓堤防道路南部取付け道路の 県案現計画路線の変更と早期完成について

大久保議員 (県案現計画路線の図面による説明の後)

南部取付道路の完成は、雲仙市のみならず島原半島の発展に大きく寄与するものであり、経済効果に大いに期待し早期完成を心待ちにしているが、県案の現計画路線(鳥居のある交差点)は、国道二五

一号線に町道が二本交差する六差路となっている。踏切と平面交差する付近は、スクールゾーンとなっている。付近住民や児童保護者から二度にわたり県案現計画路線変更の請願書(延べ四三三名)が提出されている。

この道路の交通量の県試算は、四、二〇〇台となっているが変則的な県の現計画路線は、「踏切」とその先は「信号」で渋滞と混雑が予想される。国道二五一号線の朝・夕の渋滞に輪をかけ混雑し大変危険である。

開通しさえすれば良いと言うものではない。安全性と利便性を考えた道路であり、そして、経済効果・投資効果を反映し子々孫々に禍根を残さない道路を造って頂きたい。

干拓堤防道路は、白線も引かれ歩道も造られ、残すはこの取付道路問題のみである。厳しい県予算の中で約二十五億円を投じた投資効果を生む為にも早期完成が肝要である。全国的に有名であり観光ルートの目玉として、この道路を経由した国立公園雲仙・小浜の観光の浮揚や、農産物海産物などの輸送経路の短縮による



諫早湾干拓堤防工事用道路

時間短縮と高速代・ガソリン代の経費削減は、雲仙市の特産品の消費拡大につながり島原半島の要の道路と期待されそれに伴う経済効果は、大である。

しかし、交通混雑・交通渋滞すれば、この期待は、皆無に等しいものになる。そこで踏切のない島原方面・諫早方面・グリーンロード方面への渋滞を回避するための三分割道路を造って頂きたい。それもこの干拓工事用道路を利用して造るならば既に、用地買収された工事用道



県案現計画路線

路なので県の現計画路線のようにならなければ用地買収する必要もない。断固として県案現計画路線変更を強く要望して頂きたい。

奥村市長 大久保正美議員の南部取付道路早期完成に対する情熱に心から敬意を表する。本件は、これまで事業主体である長崎県と旧吾妻町が路

線案を決定され実施に向け努力されてきたが、関係者全員の同意を得るに至らず現在に至っている。本定例会終了後に県の方向性を確認のうえ協力体制を整えたい。本事業制度は、平成十九年度までという制約もあると聞いているので慎重を期しながらも早期完成に向け県に協力したいのでご支援ご協力をお願いしたい。



町田 康則 議員
まただ やすのり
小浜町

広域ごみ処理施設 「県央県南クリーンセンター」について

町田議員 二十一世紀のごみ処理施設として、ダイオキシン類の徹底削減はもちろん、ごみから回収したエネルギーの再利用と、すべてを再資源化することにより、地球環境はもとより、近隣の快適な生活環境を維持する高度な技術を持ったすばらしい施設であると聞かされていました。しかし、昨年の四月稼働以来、六月から八月まで三十五日間二、五〇〇トンのごみを長崎市へ委託するなどトラブルが続き、ごみの受け入れ量は四月から十二月の平均で一日二二二トン収集されたが、問題は処理量で三炉運転を始めた五月から十二月の平均でも一日二二九トンでパンフレットにも書いてある処理能力一日三〇〇トンは何だったのか。また、ガス・電気などの経費も十七年度当初予算で二億七三〇七万円が補正で五億七

六〇七万円となり、平成十八年の予算では六億三、四〇六万円と二・三倍となっている。余りにも高くなった理由は？

金子助役 昨年四月稼働当初に推積していたごみ量が多かったことや運転技術が未熟であった。また、悪臭対策としてEM菌散布で水分が多くなったので、液化天然ガスを予想以上に使用することになった。

町田議員 三市約二十六万人の同規模の市のごみ処理施設のガス・電気代はいくらにかつているのかということ、大阪府吹田市では人口三十四万人あり、処理量は十二万トンで一億九三三万円、我々の施設は処理量は九万トンで六億三、四〇六万円、更に五・七倍の経費がかかっているのは何故か？

金子助役 ストカー方式と溶融式による機種による差異と考えている。

町田議員 ランニングコストについて施工監修した総合エンジニアリング、設計施工したJFEエンジニアリングなどの意見はどうだったのか？

金子助役 当初一億二、〇〇〇万円だったものが最終的に三億四、〇〇〇万円になった。議員御指摘のとおり一・何倍ならまだしも、それだけ多くなった理由については詳細に調査をし、回答をしたい。

町田議員 付随して建設されている温水施設へは、ごみセンターからの発電余熱システムを利用するとなっていたが、また燃料費があがるのか？

金子助役 温水施設ができるのと別途、電気・水道代で二、六〇〇万円程度かかってくる。

町田議員 施設から排出される物質・メタルやスラグなどは100%再資源化し、それを売却するとなっていました。十七年度決算予想で、売り払い金が年間四十万円なのに、それを東北地方など搬送コストが一、七六〇万円かかっているのは費用対効果からしてもおかしいのでは？

金子助役 確かに、全くもって話にならないとは思っておりますが、組合に対してもう少し安くできないか研究をお願いしてまいりたい。

町田議員 助燃剤である液化酸素は、元々施設内で作って使っていたので、今は建設業者が負担しているが、その貯蔵施設の建設費が十八年度予算についているが、これは業者の責任で作らせるべきではないか？

金子助役 貯蔵施設は四、〇〇〇万円です。

建設する予定ですが、稼働後に発生した項目の負担方法は組合と業者による協議に基づくものです。構成市として組合に申し言うべきことは言っている。

い。

町田議員 組合の議会をグラントパレス疎早というホテルでやっているのは経費節減の意味から飯盛町の議会の議場などですべきではないか？

金子助役 県央県南環境組合で起こっている問題について、言うべきことは言って議員が言われましたように経費がごみ袋代に転化しないようにしたい。



県央県南クリーンセンター



まちだ まこと

町田 誠 議員 千々石町

公的資金の安全管理対策について

町田議員 日本ではペイオフ

制度は一九七一年四月に施行され行政による銀行は潰れないものと思っていたが九四年から九五年にかけて、銀行の破綻が相次ぎ二十一世紀には自分の資産は自分が守る時代だと言われています。市民から預かった共有の大事な財産である公金を最も確実かつ有利な方法で保管しなければなりません。本市として破綻リスクの上昇が懸念される事態に直面した場合、再建の保全に向けての対応、また今後、ペイオフに対する職員の勉強研究会、金融機関等のヒアリングやセミナー参加研究の設立についてお尋ね致します。

吉田助役 安全性及び流動性の確保を前提とした上での効率的な運用を基本として、公金の確実な管理を行っていく必要があるのです。市としても安全性、流動性、効率性を基

本原則とした公金管理に関する基本方針を定め、公金の安全で確実な管理運用に努めていきます。また職員の研修という事については会計課はも

防犯対策の管理システムについて

町田議員 子どもの安全対策

について、今回お尋ねする事は市内をカバーするケーブルテレビの通信網を利用して、IPカメラを犯罪の温床となる危険な場所に設置し危険箇所の監視を行うものです。

旧来の防犯カメラとして設置されているアナログ技術をベースにケーブル配線等は多額の費用など問題点があったのですが、このIPカメラなどデジタル技術をベースとする防犯カメラは効率的で格段な防犯システムを構築する事が可能であると思われます。IPカメラの設置により有

事



雲仙市役所のキャッシュコーナー

とより関係部署の職員につきまして金融機関等の経営状況の調査等を勉強会・研修会を開催したいと考えております。

事の早期発見や抑止効果等も期待できると思います。さらに地元住民と行政、警察、防犯団体との連携を強化し地域の防犯意識を高め防犯カメラの犯罪対策の補助的な道具としては最終的に人の目が犯罪抑止効果があると思います。また下校時刻にあわせて防災無線等を使ってインフォメーション、放送等も抑止効果があると思います。

今崎総務部長 子ども等弱者

を守るため、IPカメラを危険な場所に設置する事は行政機関と警察とのネットワーク

接続も可能になり、早期発見や抑止効果も期待できると同時にプライバシーの侵害等、市民の人権保護の観点等問題点もあるようなので今後に向け調査研究等の検討を進めていきたいと存じます。四月から発足する予定の雲仙市防犯協会を中心に市民と行政、警察、防犯団体等と連携強化を図り安心安全なまちづくりを推進していきます。

鈴山教育長 子どもを犯罪か

ら守るため学校、警察、地域住民、教育委員会が合同で総点検を行い、子ども達への周知徹底することについて、学校へも指導をし、また学校で通学路マップを作成し危険箇所子ども一〇番の家等の再確認をするともに子ども自身が危険を予測し、回避する能力を身につけさせるような実践的な安全教育を推進しているところです。雲仙市内の各町の防災無線を利用して子ども達の下校時刻にあわせた地域住民への啓発放送を再度検討致します。これからも地域の子どもは地域の大人で守るという意識の高揚を図り、雲仙市内の学校、警察、家庭、地域等の連携をさらに強化し、子どもの安全に関する施策の一層の推進を図ってまいります。

雲仙市七町のネットワークについて

町田議員 急速に進化する情

報社会の中、一刻も早く七町をブロードバンドいわゆる高速インターネット開設をすることは不可欠ではないかと思えます。また行政経費の削減という厳しい昨今、この計画が実現に至るならかなりの期待が持てると思います。雲仙市としての今後の取り組みまた計画等を率直に聞かせてほしいと思います。

奥村市長 七町間のネット

ワークの件ですが情報社会に対する本市の計画は情報の大容量化、高速化に対応できる情報通信基盤を整備し、行政と民間の相互の情報伝達に取り組み、また多くの人が情報化に対応できるよう、IT教育の普及を考えております。また安全で安心な市民生活を目指して防災情報等の共有により防災活動の高度化、広域化を進めていきたいと考えております。市としては旧町の設備を十分活用しつつ教育福祉行政、防災等の高度化を目指し総務省の補助による整備を図る為詳細調査をしている段階です。



もりやま しげのり
森山 繁一 議員
国見町

水稻の生産調整に関する諸問題について

森山議員 稲作農家の水稻作付 生産調整をどのように考えているか。

奥村市長 平成十六年度より水田農業政策、米政策の大転換が図られ二年目が過ぎようとしております。平成二十年度から農業者団体が主役となるシステムを国と連携し構築する方向。

平成十八年度の生産目標数量は長崎県へ昨年より一、〇三〇トン少ない六万七、六一〇トン、県は雲仙市に昨年より一七〇トン少ない七、六一六トンの配分を決定。

森山議員 今後の水田農業推進協議会をどのように考えているのか。

奥村市長 旧町単位の各推進協議会を存続させる。生産目標数量は県の配分算出方法により各推進協議会へ配分し、

森山議員 行政と関係機関の連携を今後どのように進めるのか。

奥村市長 米政策改革対策により農業者、農業団体の

自主的な取り組みの強化を目指すとしており、市としましては本対策の実現に向けた支援を行うことが必要であると考えており、行政と農協の役割分担を明確にし、地域ぐるみで生産調整が円滑に推進できる仕組みが構築できるよう十八年度から十九年度にかけて農協と連携を深めていくことが重要であると考えています。

森山議員 水田農業構造改革交付金の今後の取扱いをどのように考えているのか。

奥村市長 水田農業構造改革対策は十六年度から十八年度までの事業で構造改革交付金は県の水田農業推進協議会から各推進協議会へ直接交付されるようになっており、その使途も各推進協議会におい

て決定。

全国棚田サミットが平成二十年長崎県で開催をされると聞いております。棚田保全意識の高揚、また雲仙市の魅

力を発信するため、観光につきましても大変活性化になると思っております。ぜひ雲仙市開催誘致に努力して頂きたいと要望します。



千々石町岳地区棚田



ふかほり よしあき

深堀 善彰 議員

国見町

新たなスタートの雲仙市！ 基本的な『まちづくり』について

雲仙市総合計画及び基本計画の策定は？

深堀議員 新市の建設計画をもとにした、雲仙市の「まちづくり」の基本となる雲仙市総合計画、そして基本計画の策定について、今後の計画等をお伺いしたい。

奥村市長 総合計画の策定につきましましては、平成十八年度当初予算において、関係予算を計上し、審議をしている所でございます。今回策定します総合計画につきましましては、平成十九年度から十年間を計画期間とし、市の将来像や基本理念、基本方針を定めた基本構想および前期五年間を計画期間として基本構想実現のための具体的な政策や施策等を定めた基本計画を雲仙市総合計画としてお示しするよう計画しております。

基本的には、合併前に策定された新市建設計画があり、

についての考えは

奥村市長 まずは、審議会の委員の選任手続ということになりますが、審議会の設置に関する協議において、旧町の区域を単位として設置し、その第五条で委員の定数は十五名以内をもって組織するとしております。続く第六条で、委員の構成について自治会長、農林水産業団体、商工団体及び観光団体等、社会教育及び学校団体、青年、女性及び高齢者を構成員とする組織、社会福祉等の関係者及び学識経験者並びに公募によるものと幅広く人選が可能となるように規定しております。

深堀議員 設置の時期は、

奥村市長 十七年度内に予定しておりますが、自治会長、地域行政協力員の方々との交代時期とも重なり、新年度に考えております。

「まちづくり」は、 「人づくり」

深堀議員 次の世代を担う若手、青年層の育成については、どのような考えなのか。

奥村市長 人材は、雲仙市の宝です。市では市民が自ら考

え実践する地域づくりを積極的に推進するため、一定の要件を満たす地域活性化事業及び人材育成事業等に対し、地域づくり補助金を交付します。市民の皆様の自主的、自発的な活動を支援し、人材の育成を図ります。

福祉事業について

深堀議員 少子化対策、子育て支援事業および高齢化対策についてまた、保育料の三人目無料化について、平成十八年度は具体的にどのような考えなのか。

奥村市長 保育、子育て支援及び少子化対策事業については、子ども達が健やかに成長し、子育てに喜びを感じられる環境づくりを行うことが少子化問題の解決にも繋がると考えております。平成十八年度の目玉事業として、三人目以降の保育料を無料とする健やか子育て支援事業を実施いたします。小学四年生以下の児童を三人以上扶養する保護者に対して、三人目以降の児童の保育料を無料とする事業でございます。また、延長保育、一時保育、休日保育、障害児保育、乳児保育促進などの事業を実施します。子育てにおける家庭の負担

や不安感の軽減を図る取り組みとして、地域子育て支援センターや小学校低学年を対象とした放課後児童健全育成事業を実施しております。また、児童手当支給事業、乳幼児福祉医療支給事業を実施することにより、子育て家庭の経済的支援につきましても行っており、引き続き実施します。新たな子育て支援事業として、仕事や冠婚葬祭等の理由で援助が必要な家庭に対し、その家庭の子どもを子育て支援員の自宅で預かったり、保護者に代わって保育所や幼稚園等への送迎を有償で行う子育てサポートセンター事業を現在検討しているところです。

深堀議員 高齢者社会への対応、食の自立支援事業、配食サービス等の事業は、

奥村市長 現在雲仙市におきましても、高齢者対策として種々の事業を実施しております。福祉タクシー助成事業および調理をすることが困難な高齢者等に対して定期的に住まいを訪問し、栄養のバランスのとれた食事を提供する食の自立支援事業配食サービス等を引き続き実施してまいります。



はらだ ひろふみ
原田 洋文 議員
南串山町

雲仙市総合庁舎の早期建設について

原田議員 効率の良い行財政を進める上からも合併協定を尊重し、合併特例債を使って雲仙市総合庁舎を愛野町に早期に建設すべきと思うが市長の考えをお伺いしたい。

奥村市長 合併協定を基本的に尊重する。一年間程度をかけて財政状況、中長期の財政計画を策定し、方向性を判断する所存であります。

原田議員 全国的に合併が進んで、合併特例債を使うと交付税制度も改正されることも予想される。早く特例債を使って庁舎建設をした方が良いのではないかと。

奥村市長 その心配も全くないとは言えません。しかしながら、これからの中長期的な計画を立て、十年後、十五年後規模縮小された雲仙市の財政状況をかんがみながら、決

定していくことが、私達の使命だと思っています。一年間いろいろと研究期間を与えていただきたいと思います。

雲仙市の財政状況等について

原田議員 雲仙市の財政状況等についてお尋ねします。現在持ち寄った基金総額は、どれくらいか。その内、財政調整基金および減債基金はいくらか。また、借金（地方債）は、総額いくらで、市民一人当たりいくらになるのか。そのうち、国が交付税で見てくれるという額は、どれくらいか。限られた財源をいかに使って市民の満足度を高めるかが財政の果たす役割だと考えます。少子化が進み、子育て支援の為に、経済的支援を求める声が高まっています。合併で保育料が高くなった地域もあり

ます。小さな町で出来たことが、大きな市になってどうして出来ないのか、財源の使い方の問題だろうと思いますが、保育料の軽減措置は出来ないのか市長の考えをお伺いしたい。

奥村市長 財政調整基金八億五千万円で、減債基金二億八億五千万円で、その他基金六億五千万円となり、総額九億九億五千万円となる見込みであります。特別会計を合わせた地方債（借金）残高は、十七年度末見込みで約四四六億円に達し、市民一人当たり八九万三千円となっています。借金残高の五七％が交付税で措置されます。保育料の軽減策につきましては、十八年度より小学校四年生以下の児童を三人以上扶養の場合、三人目以降の児童の保育料を無料とし、七町の平均保育料より少し低めに十八年度保育料を設定しました。

原田議員 行政機能が十分に発揮される為には、本庁、支所とも適正な職員の配置というの、大変重要なことと思うが、うまくいっているのか。

金子助役 議員ご指摘のとおり、事務機能につきましては、適正な職員の配置が必要で、

本年七月ごろをめどに組織機構、人員配置も考えたいと思っています。

雲仙市の具体的な農業・漁業支援対策について

原田議員 雲仙市の農業・漁業支援対策について、それぞれどんな具体的な支援対策を考えておられるのかお伺いしたい。

東産業経済部長 意欲ある農

業者等の創意工夫に基づく提案型の事業計画を支援することにより、これからの地域農業を牽引するアグリビジネスの創出を推進する農業パワーアップ対策、特認事業を創設すると共に、担い手の育成に努めてまいります。また国庫補助事業や「園芸ビジョン二十一対策事業」、「肉用牛振興ビジョン二十一対策事業」、「ながさき食と農支援事業」などの県補助事業に対し、市としても上乗せ助成を実施いたします。

漁業対策として、「諫早湾特別対策事業」、「新世紀水産産業育成事業」などの県基金による補助事業や市単独事業を活用し、魚場整備、稚貝、稚魚放流など水産業の振興を図ってまいります。



県営畑総事業（南串山町鬼池地区）

後継者対策として、雲仙市担い手育成総合支援協議会を軸に支援してまいります。



いわなが もとかず
岩永基和 議員
吾妻町

山田川改修と附帯する牛口道路改良について

岩永議員 山田川改修事業と牛口道路改良事業の早期完成は、牛口地区住民はもとより吾妻町民の悲願である。牛口線道路改良事業の早期完成に向けた用地買収の状況と、今後の事業計画について、どのように考えているか。

道路新設を検討していきたいと考えている。

松田土木部長 牛口地区の道路新設改良事業は、二級河川山田川改修事業においてかけかえの必要がある橋梁および取水堰の詳細設計が完了して

奥村市長 平成十五年度に事業が新規採択されてから現在まで、河川改修に伴う用地買収および家屋移転補償を主として実施されている。県事業である山田川改修については事業の緒についたばかりで、橋梁、取水堰などの詳細設計も完了していない状況です。市としては、「仮称牛口線道路」新設の必要性は認めるものの、県事業の詳細が確定しない現時点では牛口線の設計そのものが困難であり、用地の取得はできない状況で、今後県事業の進捗を把握するとともに、事業効果も含めた



山田川（吾妻町）

奥村市長 旧町の水道料金を適用しているため、御指摘のとおり七町では格差が生じているもので、三カ年程度というのはあくまでも目標である。可能な限り早い時期に水道課、そして、水道の使用料を基礎とする下水道料金を担当する下水道課が連携して、水道料金など早期確立のためのプロジェクトチームを立ち上げ、平等で公平な雲仙市の水道料金体系を確立します。

いない現在、道路の平面並びに縦横断面計画等の全体計画は不可能で、土地のつづれ地に

上水道の料金の改定について

関する丈量図の作成も不可能です。

岩永議員 旧吾妻町議会でも各町と比較をした場合に割高であると言議され、さらに、企業特別会計より一億二、〇〇〇万円の剰余金を雲仙市に持ち込んでいる。各町の水道料金を調査したところ、二〇トン使用した場合に七町平均で二、四三五四、吾妻町では二、九九〇円の料金を毎月納めており、料金の安いところと比較した場合に、一カ月約九〇〇円の格差があるわけです。早急に均衡のとれた料金に改善されることを町民として望んでいる。



農協の駐車場

職員駐車場について

岩永議員 職員駐車場については、協議をしながら検討したいとの答弁であったが、最近、農協の駐車場に職員が駐車をするのによく見かけるが、個人的に借用しているのか、市役所で借りているのか。

奥村市長 協議の結果、農協の御理解を得て借用するよう当初予算案に計上させていただいている。



なかむら いさお

中村 勲 議員 千々石町

愛野・小浜バイパス建設促進期成会の動向について

中村議員 当期成会は、平成十一年七月に旧一市十六カ町の首長達で設立され、国や県そして郷土出身の代議士へも要望されておりますが、この期成会の今後の動向と、市長の考えについて伺います。

奥村市長 この期成会は、継続を前提とした組織の見直し再編を図る必要があると思います。具体的には、島原半島の雲仙市、島原市そして南島原市において、愛野、小浜バイパス建設の早期実現を図られるよう要望活動などを実施していくこととなりますが、設立の時期は、南島原市が誕生後の四月以降に予定したい。この事業は、事業の実施地である雲仙市が率先して推進していく必要があると考えております。

中村議員 この道路は、山間部を通ってしまうようであるので、国道五七号線の通行車

両は、減少し渋滞解消されると思うが、車両の減少によって町が寂れる恐れがあるので道路のコースについては、慎重に検討され全地域が有効活用されるような配慮をお願いします。

国道や県道に通ずる市道等の拡幅改修について

中村議員 雲仙市が誕生して本庁あるいは各総合支所へ通勤する職員また、要件で行き来する市民も多いと思います。この南北に広い本市にとって、いかに最短距離で、しかも短時間で往復するためには、既存の市道を拡幅改修し国道と県道そして市道とつなぐことによつて国道の渋滞も解消するものと思ひ、以下の項目について質問致しますので市長の明確なご答弁をお願い致します。

一、市道千々石才野線―愛野・榑高野東免場線の拡幅
二、千々石釜岳線―平原線の拡幅

三、千々石大久保線―小浜坂下線

四、県道千々石北野線に車両の離合場所の設置とトンネルにセンサー付き信号機を取り付ける。

五、国道五七号線千々石観光センターから愛野方面のSカーブの改修工事の早期着工を。

奥村市長 市道関係の詳細については、土木部長に答弁させていただきますが、私も中村議員のご意見がありました五七号線については、改良の必要性を考えております。

松田土木部長 国道、県道に接続する市道の拡幅についてご指摘の箇所は、今後接続状況、改良の必要性など詳細に調査したいと考えております。

県営バスの島原半島地区路線の移譲等について

中村議員 三月一日の長崎新聞の一面記事に大きく平成十九年四月一日より、県営バス島原半島から撤退へ県の方針が掲載されましたが、県営バスが撤退した場合、不便を来すのは小浜、千々石、愛野から諫早方面に行く人と、逆に愛野、千々石から小浜方面へ行く学生、通勤者と車を持たない老人であり、今運行されている中で特に、木津、富津千々石の岳地区の住民が不便を来しますが、この不便を解消するための対策について市長の見解をお伺いいたします。

奥村市長 バス路線問題については、十九年三月を以て路線廃止する旨の正式申し入れが県バス対策協議会になされたと聞いているが、廃止後の対策については、把握出来ていない状況であります。当該路線は通勤、通学等が出来ず、また、観光振興にも絶対不可欠な物である事から、その存続に向け粘り強く協議していきたく考えております。

中村議員 諫早、長崎方面へ朝七本のバスが高校生の通学用として利用されているが、子どもの通学にも支障を来すような町には、若者は益々住まなくなり過疎化は進むばかりである。県営バスが廃止になつた時の対策についての考えは。

奥村市長 この議会で仮にということを行いますと県営バスの申し入れを受け入れて議論したことになってしましますので私たちは、当該路線を絶対守ると言う今の姿勢で臨んでおります。

中村議員 私も今日は、中村私案を作つて来ましたが、市長の考えを真摯に受け止め私案も保留に致します。ただ今まで意見を述べお願いをしました事につき市長確約出来ますか。

奥村市長 中村議員の発言に對しまして厳肅に受け止めさせていただきます。

中村議員 私の意見を厳肅に受け止めて早急に実現してもらう事をお願いする。



県営バス小浜ターミナル



さとう やすひろ

佐藤 靖弘 議員 小浜町

地域間交流事業の取り組みについて

佐藤議員 一点目の質問は、地域間交流事業の取り組みについて雲仙市として、今後どのように取り組むのか。

奥村市長 雲仙市としての取り組みは、地名による交流は、市町村合併により自治体の名称を変更したことにより、その交流の根拠がなくなり、事業の継続は行わない。地理的つながりによる交流は、旧国見町が国見町・長洲町地域交流促進協議会を設け交流している。雲仙市全域での交流として引き続き図る。歴史的つながりによる交流は、旧千々石町天正遣欧少年使節ゆかりの地との交流があり、今後も事業の継続を図る。国立公園第一号をえにした交流は、旧小浜町が、霧島市として合併した旧霧島町・旧牧園町と三町で観光姉妹盟約を締結し、交流事業を実施してきた。来る四月二十七日、雲仙市にお

いて姉妹盟約式をとり行う予定である。議員各位の出席をお願いします。カナダ国バンフ町も旧小浜町の合併は承知しており、雲仙市と姉妹関係を正式に継続したい旨の申し入れの親書が三月一日に届いている。雲仙市としても継続する方向で検討する。交流事業については相手方の意向を踏まえ、協議を進めたい。

体育施設・公民館および文化会館等の活用について

佐藤議員 平成十八年度から体育施設・公民館および文化会館等の利用申請の取り扱い、使用料が変更されるが、今後の基本的な対応、各施設の活用については。

鈴山教育長 雲仙市内の社会

体育施設および社会教育施設については、小中学生の学校行事、その他保育園・幼稚園、社会教育団体、社会福祉団体等一定の減免規定により配慮する。特に団体および事業の実施については、雲仙市が主催するものもとより、共催あるいは協賛による開催などについて減免規定の活用も可能かと考える。

辻教育次長 減免については市が主催・共催・協賛する場合、使用料・照明料とも免除。市の体育協会・文化協会の場合、市民・県民・国民体育大会の練習等の使用料は期間・回数を制限し免除する方向である。市内の児童および生徒のクラブ活動、主練習会場の場合は使用料・照明料とも免除。主練習会場以外の場合、両方とも半額免除。市内の自治会・市の社協・在宅介護支援センターは両方とも免除。市内の社会福祉団体・ボランティア登録団体・老人会・婦人会・青年団・4日クラブ等・消防団、慰霊祭は使用料は免除で照明料は有料。各種行事・大会等がさまざまな形態で行われるが、具体的には教育委員会へ相談を願いたい。

佐藤議員 雲仙市の共催・協賛等は申請が認められれば使用料も照明料も免除となるのか。

辻教育次長 共催・協賛などであれば一応免除の対象となる。

佐藤議員 施設活用の面だが小浜温泉・雲仙温泉においては、スポーツ大会、研修会、講演会等のイベント主催または誘致、それに学生・社会人の合宿等がある。これによる宿泊客・日帰り客の増加策として積極的に行われている。これについてはどのように減免を対応されるのか。

辻教育次長 結論までは至っていないので、今後検討する。

佐藤議員 ぜひ積極的に検討していただきたい。体育館・公民館および文化会館・グラウンド等各施設は、頻繁に利用活用されなければ意味がない。

奥村市長は各施



雲仙市内体育施設

設の効率的な活用をどのように考えておられるのか。

奥村市長 もう一回運用規定を整理してみたいと思う。これからのスポーツを育成するというところもあるし、また、活用していただくためにも、再度改めながら、どのような運用規定ができるのか、それがどういうふうに応用できるのかということも含めて検討させていただきたい。

佐藤議員 積極的に推進していただくことを願いながら、私の質問を終わります。



瑞穂町旧大正駐在所

奥村市長 西郷・大正駐在所の敷地は、長崎県所有、雲仙市所有となっており、家屋はともにも県の所有となっており、必要であれば県から譲り受け、安全パトロール立ち寄り施設などとしての利用できないか。

進藤議員 地域で取り組む「安心・安全」を得ることのできる施設「場」として、例えば安全パトロール立ち寄り施設などとして有効利用できないか。

奥村市長 旧町の区域を限りとしての総合支所として、自由裁量による事務事業の展開を行う機関ではないことから、

進藤議員 合併協議によって、本庁総合支所方式が取られているが、現状では総合支所の権能・権限が明確でなく、市民にも周知されていないように思う。
長期的展望によって立案された事業などの調整、見直しなどにおいて、支所において各地元の考え方なども反映させる事も必要であると考え、時、地域審議会の立ち上げもない今日、市長の総合支所への権能・権限の付与のあり方について現状と方向性を伺います。



瑞穂総合支所窓口

金子助役 合併協議の中では、そういう方向性で検討されていましたが、いわゆる決裁権限と事務事業の実施権限とは別の問題になります。
基本的な住民サービスにはきちんと対応しなければなりません、形としては出先機関と言う形で支所を集約し、人員に見合った支所にできないかと思っています。
市民への周知が徹底していなかった事につきましましてはお詫びします。

総合支所の権能・権限について

進藤議員 周囲の公有地や金融機関等の立地状況から西郷駐在所の有効利用を望む声が多いが、せめて一カ所でも県への働きかけにより、有効かつ機能的な施設として残し、用いるべきだと考えるが、市長としての見解は。

奥村市長 西郷でなければならぬ理由について相互理解していない部分もありますし、当局の話では大正駐在所のほうに学校もあり、国道端でもあってパトロールや、立ちまわり場所として確保しやすい場所であると言っています。
ただ、様々な意見を受けて再度県警当局とも話をしてみたいと思っています。

えています。
また、市民のニーズの把握に努め、システム整備の促進とデータベース化を進め、事務組織機構の改革に努めていきます。
進藤議員 総合支所長の権限の中に、合併協議事項の五百万円の決裁権があるという事を承知しているが、決裁権は付与されているのか。
また、総合支所の管理はどのように考えているのか。



進藤 一廣 議員
しんどう かずひろ
瑞穂町

どうなった瑞穂町内の駐在所

進藤議員 先の議会で「雲仙市瑞穂町内駐在所の存続を求める意見書」は可決され、市長も、市議会も関係機関に働きかけをしてこれらと思うが、その後の結果について。

訪れ、少なくとも一カ所でも残してほしい旨の要望をしてみました。が、県警本部で、四月の統合に向けて着々と準備が進められていることは遺憾であり、今後も時間の許す限り存続に向けて要望を続けたい。

奥村市長 就任以来、機会あるごとに県および県警本部を

図表1 国勢調査人口

単位：人、%

区 分	17年国調 (17年10月1日)	12年国調 (12年10月1日)	増 減	増減比率
雲 仙 市	49,992	52,230	減2,238	△4.3
島 原 市	50,081	51,563	減1,482	△2.9
南 島 原 市	54,034	57,045	減3,011	△5.3

図表2 人口動態調査(住民基本台帳)12年度～16年度(5ヶ年間)

単位：人

区 分	出 生	死 亡	転 入	転 出	差 引
雲仙市全体	1,944	2,663	9,126	10,254	減1,847
増 減	自然減少719		社会減少1,128		
愛 野 地 区	270	189	1,384	1,171	増294
増 減	自然増加81		社会増加213		

人口減と定住対策について



まちだ よしひろ
町 田 義 博 議員
千々石町

町田議員 昨年の国勢調査で人口減の厳しい結果であった。このようなことから雲仙市の交通アクセスの利便性や海・山・温泉等自然環境が良く、定住地には最適と思うが、人口減少対策として定住対策の取り組みをどう考えておられるか。

奥村市長 人口減少や定住対策は早急に取り組まなければならない重要な課題と認識している。道路、廃水対策等の住環境整備の促進を図って行くと共に優良企業誘致に向け、県と協調し最大限努力する。

行政組織の体制について

町田議員 本市は七町合併であり基幹となる行政体が無く新たに本所・六総合支所方式で発足した。

合併より半年経て新年度に向け効率の良い体制づくりをされる考えはないか。

奥村市長 市民のニーズの把握をし、本年七月を目途として事務組織機構の見直しを行う予定である。

金子助役 問題点として、事務事業が本庁でやるものと、支所で行うものが明確な仕分けができていない。いまある意味で権限と事務が本庁にあつて、逆に支所で行っているものが本庁に上がつて来ない部分がある。そう言うものについて、風通しの良い本庁と支所との関係を検討している。

行政財産等の活用について

町田議員 旧町の庁舎等に、空き室や空きスペースがある。これらを有効活用される考えはないか。また庁用車や器材

備品について、広く市民や各種団体に利用させ、活動の助長を図る考えはないか。

奥村市長 各庁舎で活用できないものか、またどういった需要があるか調査研究し、出来るだけ早く意見の集約をして、市民に提供できる施設としてリニューアルを考えている。

鈴山教育長 教育・体育施設および備品については、条例規則によつて管理しているが、利用者責任を明確にしながら統一的な基準をつくる。生涯学習の面からも、施設備品等は市民への利用に供するよう極力努力する。

町田議員 旧町では、交通指導員や体育指導員について行事などに協力し出てもらっていたが、今後の活動について

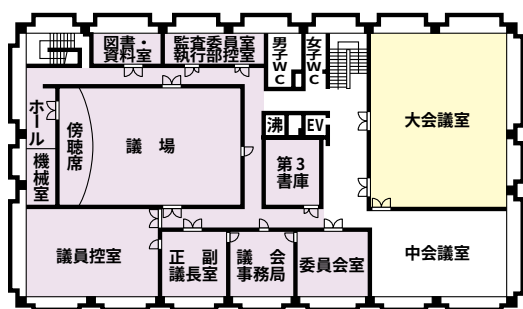
今崎総務部長 交通指導員は児童生徒の事故防止と、交通安全教育や交通事情に即した指導等規定ある任務に当たり、イベント等の交通整理には派遣しない。

鈴山教育長 体育指導委員は、住民スポーツ振興のための実技指導助言やスポーツ行事への協力を行う。本来の生涯スポーツを推進する観点から、地域活動に対しブレインとなつて活躍してもらおう。

町田議員 世の中が変化していく時代には、固定したひとつのやり方では対応できないと言われている。旧町の良いところは生かしてもらい、また雲仙市の活性化のため尽くしてもらいたいと願います。



千々石庁舎全景



千々石庁舎3階平面図



国道57号（千々石町）



なかむら かずあき

中村 一明 議員

南串山町

愛野～小浜バイパスの交通対策は？

中村議員 愛野～小浜間の道路は半島十六カ町にて研究調査がなされたと考えてるが、前回この線については何らかの手を加え交通混雑の解消をしてゆくと回答でした。また、国県に対する要請を強固なものにするためにも計画を示して戴きたいと思う。市長の考えは。

奥村市長 愛野～小浜バイパスに対する私の考えについて、このバイパスは今後雲仙市の発展に欠くことのできない重要な道路であると考えている。今後も強力に国・県に対して早期実現に向けて要望活動を行う。要望としては愛野～小浜間のルートを早急に検討していただくために調査費の予算化をお願いする。

国・県の道路事業は非常に厳しいが五七号線森山の拡張事業も実施されており、島原の高規格道路との整合性が図られ雲仙市を走る道路整備計画がまさに具体化されようとしている時期に、愛野～小浜バイパスは厳しいが実現にむけて精一杯努力し、上京のたぐいに国土交通省においては一考察をお願いしております。

中村議員 市長が小浜、愛野バイパスを作る一つ路線を上げるとされればその考えは

奥村市長 基本的には山手を走っていく道路だと思っている。国道と並行する国道建設は認めないという一つの構造上の問題がある。農道と林道で対応しようと考えたわけですがそれが非常に難しかったということである。

少子化対策について

中村議員 猪口少子化担当大臣は子どもの出産について、入院を含む出産関係の費用を国が全額負担し、出産の無料化制度の導入を検討している。二〇〇三年～二〇〇四年の出産率は戦後最低だった。若年夫婦の経済的負担を軽減し少子化の拡大に歯止めをかけるということですか。また乳幼児の医療費の助成制度についても乳幼児の医療費助成制度の利用状況は、雲仙市の対応について。

中村保険年金課長 生まれる子どもの数より死亡する人の数が上回るという、人口の自然減少時代を迎えた現在、国

においては財政の均衡が取られ、将来にわたり安心して暮らせる、持続可能な社会制度を構築するための取り組みが進められている。国の少子化対策としては、働く女性が出産後も社会復帰しやすい環境

づくり、出産育児の経済的負担軽減の二点が大きな柱となっている。出産の費用を全額国が負担する無料化制度導入、三歳までの育児手当一万五千元を新設、さらに六歳までの医療費の無料化、子どもが多いほど優遇される制度があります。また十八年十月からは、出産一時金が五万円増額の三十五万円に、平成二十年以降は小学校に入学するまでに、すべての子どもを医療費負担軽減二割の対象とされようとしている。

中山健康福祉部長 福祉医療については、月一回八〇〇円の二回一、六〇〇円以上であった場合、医療費の補助をしようとするものです。平成十六年度の支給状況を見ますと、乳幼児医療については九二二九件、金額にして二、一五六万七千円です。手続きは一旦、病院の窓口で支払い、後日市役所で申請をして還付の手続きをする償還払いという方法で行っている。

中村議員 いったん患者さんが支払って、後日市役所で受け取る方法ではなく、現場給付方式ではないのか。

中山健康福祉部長 この支払方法は、償還払、委任払、現場給付の三つがある。現場給

付のメリットはそういう請求をする必要がないということがあげられます。デメリットとして、国保の交付金の減額というものがあります。現時点では償還払いの方法で実施しております。

学校給食について

中村議員 学校給食はお母さん方の手助けになっている。千々石町に建設中の給食センター工事はいつ完成するのか。また食材については常に地産地消と言うことで取り入れていただきたい。また、愛野吾妻センター国見センターでは未収金が多いと聞いておりますが教育長の考えは。また、単価は下げられないか。

鈴山教育長 仮称雲仙市南部給食センターの供用開始は十九年四月を目標に進めている。地産地消については学校給食週間等を中心に利用している。給食費の軽減については、各センターとも食材費相当額で設定している。

給食費の徴収方法は口座振替による徴収、又未納分については、督促状発送、また雲仙市学校給食センター職員、教育委員会、学校PTA役員の方々の協力を求めながら家庭訪問による徴収を検討している。



ふくだ だいとう
福田 大東 議員
小浜町

指定管理者制度について

福田議員 平成十五年の六月十三日、地方自治法の一部が改正され、同年九月二日に施行をされた。これは従来の地方公共団体の管理下での第三セクターなどが管理委託者として公の施設の管理を行う管理委託制度を改め、地方公共団体の指定を受けた民間事業者が管理者としてその管理を代行できる、いわゆる指定管理者制度を導入しようとするものであります。従前、公の施設は第三セクターなどの法人や農協、自治会等の公共団体にしか委託することができなかったが、改正法では指定管理者の範囲については特段の制約を設けず、広く民間事業者へ委託が可能となった。この制度は行財政改革の観点からも、本市の外郭団体の整理や統廃合を推進することに



もつながる。早急に施設全般について再点検をし、外郭団体のあり方や見直しを行うべきであります。市直営の赤字続きの事業施設も多々あるが、この際、行財政改革を思い切って断行し、その成果を市民に示すべきであろうと思うが市長の考えは？

奥村市長 この制度は公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの質的向上、行政コスト削減等、地域経済の活性化を図ることを目的とされており、今後の重点課題

の一つとして取り組んでいきたい。現在、市では二〇〇施設の行政財産を有しておりますが、現在一六九の施設について指定管理者制度の導入に向けての検討作業を進めております。なお、その設置場所

につきましては、国見地域二八施設、瑞穂地域二〇施設、吾妻地域一九施設、愛野地域一四施設、千々石地域二五施設、小浜地域四六施設、南串山地域一七施設となっております。利用者に不安感を抱かせない措置対応を踏まえ検討を進めている。現在委託している施設の数および団体の名称でございますが、現在管理委託制度により、雲仙市社会福祉協議会へ七施設、小浜まちづくり株式会社へ一施設、財団法人小浜町振興会へ一施設、みずほすこやかランド施設管理協会へ五施設の計一四施設の管理を委託している。

目的税である入湯税は目的どおり使用されているか

福田議員 本市の税政で税の使用目的が限定された制度がある。その中の入湯税については一般会計に繰り入れられ

ており、その使用目的がどのようなものか具体的に伺いたい。

奥村市長 入湯税は地方税法第七〇一条におきまして、鉱泉浴場所在の市町村が環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防設備、その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する経費に充てるため、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課する目的税であると定義されております。

職員の接遇に不満があるが

福田議員 職員は、「公務員は全体の奉仕者である」という言葉、心をよく理解し、行政のプロとしてよりよき接遇に努めているか。また、職員教育はだれがどのような方法で実施しているのか。

奥村市長 公務員は全体の奉仕者でございます。一人ひとりがよい行政サービスの提供することを中心とすることにより、市民の皆様が満足していただけるものと存じます。ただ、一部の職員の中に目線が

万一、〇〇〇円を予算計上いたしております。予算上では、一般財源扱いとしておりますが、歳出予算におきましては観光振興事業の一般経費に約八、一〇〇万円、環境衛生費の下水道事業特別会計繰り出し金として六億一、二四〇万円、鉱泉地の管理費として一四〇万円、消防施設整備費に四、七六〇万円、総額では約七億四、二四〇万円を計上いたしております。今後も貴重な財源を有効に活用できるよう観光振興事業等の充実を図ってまいりたいと考えています。

合ってもあいさつができない者もいるとの指摘でございますが、これにつきましては、早急に部課長会議を開催し、今後の改善対策を講じる。市民から信頼と好感の持たれる対応を身につけた行政サービスの向上を図る必要がございます。よって、今後雲仙市接遇マニュアルを作成し、全職員に接遇の周知、研修を行い、市民の皆様が信頼と満足いただけるような行政サービスの向上に努力する。



まえかわ おさむ
前川 治 議員
愛野町

財政計画策定の 必要性について

前川議員 今後、国の三位一体改革等により、極めて厳しい財政運営を強いられると思う。新年度当初予算でも基金より十五億円が繰り入れられていることから、持ち寄り基金は三年程で底をつく可能性がある。今後の財政についてどう認識されているのか。

奥村市長 国の三位一体改革は地方交付税も当然に縮小の傾向にあるため、今後厳しい財政運営を迫られるものと認識しており、徹底した行財政改革が必要であると考えております。

前川議員 市長は「入るを量りて出るを為す」の言葉を用いて行財政改革の推進に取り組む、と表明されたが基本構想、基本計画とあわせて、より現実的な財政計画を策定されるべきと思うが、お考えは

奥村市長 新市建設計画に伴う財政計画は、合併前の平成十五年度に策定されたもので、三位一体改革の影響が反映されていないため、基本構想、基本計画を十八年度中に策定し、あわせて中長期的な財政計画を策定する必要があると考えております。

前川議員 市民総参加の市政を目指すには、まず市政の根幹である財政計画、財政状況を市民に公開し、財政状況を市民と共有認識することから始めるべきではないか。

奥村市長 情報公開によって多くの行財政改革が成し遂げられるものと考えておりますので、可能な限り情報公開に努め、しかも市民にわかりやすいものになりたいと考えています。

次世代人材の 育成について

前川議員 「組織は人なり、すべての源は人である」と述べられ、人材育成へ向け自己研鑽のための手伝いをするとして示されたが、人を育てるには手伝いだけでなく行政が育てるという意識が重要であり、また継続的な取り組みでなければならぬものではないか。人材育成に対する考えと具体的な方策を伺いたい。

奥村市長 これから高度成長もなく、少子高齢化という新たな試練を迎え教科書のない時代に入るわけであります。魅力と活力ある雲仙市を築き上げていくには、行政としてきっかけづくりや、場の提供を継続的に行なっていくことにより人材を発掘し、たくましい人材を育てていきたいと考えております。具体的には住民参画による政策立案組織として、先人の経験者の方々と交えての塾を開校してみたいと考えている。

シルバー人材セン ターの法人化へ向 けた市の対応

前川議員 高齢法の理念には、一つに地域の高齢者が自主的に連帯をし、共に働き、共に助け合っていくことを目指す。二つに高齢者の就業を促進することにより、地域社会の活性化を目指す。三つ目には、社会参加による生きがいの充実がうたわれている。現在市内においては、千々石愛野

瑞穂の三地区でそれぞれ行われている。シルバー人材センター事業を、雲仙市シルバー人材センターとして法人化へ向けた設立準備が、社協内で進められている。市としての対応は考えておられるのか。

奥村市長 法人化に向けては、社協において協議、検討されているが、社団法人雲仙シルバー人材センターとして設立されたら、市としても応分の負担をするなど、積極的に支援していきたい。



シルバー人材による松の手入れ



いしだ とくはる
石田 徳春 議員
瑞穂町

雲仙市の監査制度について

石田議員 この件については旧七町の監査委員一四名の連名で、雲仙合併協議会、松浦末利会長宛てに、雲仙市の事務機構、組織に関する要望書が提出されており、地方分権の推進に対応して、地方行政の公正と能率を確保する上で、監査機能をより強化するためにも、現在の監査制度では不十分である。新市の監査が公正、中立であるためには、議会事務局との兼務は避けるべきであり、監査事務局を設置して、事務局長書記の専任職員を配置する事は必然の措置であると考えてるが市長の所信をお伺いしたい。

奥村市長 現在、監査事務局の体制としては、専任職員を一名配置し、事務局長は議会事務局長が兼務しています。監査事務の執行に当たっては、公正、中立な立場により執行されていると存じますが、独

立した監査事務局の設置に関しては、本年七月を目途として、事務組織機構に係る一定の見直しを行う中で検討を行いたいと考えています。

消防施設の整備について

石田議員 本市瑞穂町内では年末から年始にかけて二件の建物火災と一件の森林火災が発生しました。年末の建物火災は全焼で危うく死亡者が出る所でしたが第一発見者の機転で運良く助け出されたという聞いております。そこで、いつ発生するか予測不可能な火災や災害に対し、雲仙市として万全な対策がとられているのか。

ソフト面の対策について

旧七町の消防団は合併して雲仙市消防団として、再編さ

れたが、本市の防火啓発活動はどうなっているのか。大規模地震や水害、暴風災害が発生した時の本市の体制はどうなっているか。災害発生時の初動マニュアル等は示されているか。総合防災訓練や想定訓練、避難訓練の計画は、本市の自主防災組織の組織化と訓練や活動状況は、どのようなになっているか。

ハード面について

旧七町この各支団の施設設備の整備状況はどうなっているか。

奥村市長 消防ホース等格納箱の設置については、議員お示しのとおり、初期消火をいかに迅速に行うかが重要ですが、現在、雲仙市内に一、三〇基の消火栓を設置しています。その消火栓に対しホース格納箱は七三四カ所を設置しています。今後も計画的に整備を進めていきたいと考えています。また、消火栓及び消火器の取り扱い講習会などは、消防署と連携しながら適時、自主防災組織等を活用し実施しています。防火啓発活動については、各町の消防支団において、春、秋の全国火災予防運動時および年末警戒時に、夜間のサイレン吹鳴を行い、

あわせて啓発活動を行うとともに、各分団ごとに巡視等を行いながらの広報活動に取り組んでいるところです。災害発生時の初動マニュアル等は示されているかとの、質問ですが、今後策定する雲仙市地域防災計画をもとに初動マニュアル等についても整備をしたいと考えています。

よって地域防災計画策定までの期間は旧町にあった、各地域防災計画をもとに、大規模地震発生時等の災害救助活動等を行う事としています。また、総合防災訓練等については、地域防災計画の中において盛り込むべきものですが、県が行う防災訓練等に消防団員の派遣を行い、いかに対処すべきか等について研修を行い、被害を最小限に食い止めるよう努めていきたいと考えています。自主防災組織の組織化と訓練や活動状況ですが、現在、市内の全自治会で自主防災組織が結成されています。各自主防災組織では、婦人防火クラブ等と連携して、消防署の指導をいただきながら、消火器及び消火栓等取り扱い講習会を行い、訓練や日頃の啓発活動を消防団とともに実践しています。最後

に、各支団の施設、設備の整備状況はどうなっているのかとの質問については、雲仙市消防団六六分団で、消防ポンプ車一九台、小型ポンプ積載車五〇台が配備されており、現時点では各消防団とも充足している状況です。



消防格納箱



簡易なボックスに入れられたホース等



まつお ふみお
松尾 文昭 議員
愛野 町

職員機構について

松尾議員 合併後即座に、五〇〇名の職員が配置されたが職員全体のバランスが取れているか。あるいは、本庁、支所についても、業務内容について、大変異なる部分があるが、連携が図られているのか。特に本庁舎においては、ほとんど全体の業務を行っている職員の中には、長時間残業をする人、中には体調を崩す人も出てると聞くと、配置替えとしての機構を考える必要があると思うが、総合支所での職務の権限を、どの程度与えているのか。支所での業務内容が、どの範囲まで行っているのかについても、住民の理解が得られないようだが。

奥村市長 現状においては、まだ多くの事務事業の分野で、システムデータベース等の一元化が未了である。台帳方式によっているもののほか、支所では対応せざるを得ない分野もある。合理的効率的な、本来あるべき組織、事務機構の形態となっていないのは事実であり、このため、先月中旬に本庁、支所の組織、事務機構業務の見直しに伴う職員の配置替えを含む調査を、全部局において行った所であり本年七月を目途にして事務組織機構に係る、一定の見直しを行おうと考えている。

松尾議員 事務機構を見直す上において、増員なのか、それとも臨時職員を配置するのか。事業課等の仕事の処理を対処するための、具体的な考えは。

金子助役 支所の職員の方々を、本庁に配置転換をし一人当たりの事務量がある程度少なくする。それと、支所と本庁との事務の権限を見直し、支所で出来ることについては支所に事務をおろす方法

雇用促進事業について

等を取り、現在の事務量の分散、各個々人に、多くの負担を抱えている分については、何とか対応したい。人員の増については、約一五〇人からの人員を減らさなければならぬ中で、部署間の人の異動、事務量にあった人員の配置をする方法で対応して行く。

松尾議員 常用従業員の確保を図るためには、地場産業の育成が急務であると考えるが加工工業一、五次産業に対する産業の育成によって従業員の維持確保を図る考えはないか。また商工業の育成については景気の低迷で建設業、サービス業にしても、大変な痛手を受けている地元の中小企業においても、厳しいものがある。雇用を進める上においては、国の制度もあるが、どのように進めて行く考えか。観光業の振興策としての施設の充実あるいは、半島全体の第一次、五次、二次産業を合わせた雲仙市物産館につなげることはできないか。

と雇用の創生にもつながり、ひいてはバランスのとれた地域発展につながる安定した魅力ある就業の場を確保するため、市内商工業者を対象とした、預託金運用による低金利の融資制度を創設し支援したい。観光については雲仙、小浜の最大の観光資源である温泉を利用した豊富な観光施設があり、ほかにも誇るべき自然景観が数多く存在し、観光客や市民のいやしの場として大いに活用して行きたいと考えている。

直売施設については、既存施設の競合の問題もあるので、今後は地域ブランドの確立と、地域産業の活性化を図るために、直売施設アンテナショップ等の設置について検討したい。

社会教育について

松尾議員 合併後、社会教育関係の各種団体補助金は、予算化はされているが、内容的にはどのようなか、又今後雲仙市としての方向性についての考は。

鈴木教育長 平成十八年度社会教育関係の補助金については、各団体の過去三年間の実績をもとに算定し、補助金額は、ほぼ、前年度並みの金額で予算計上している。方向性については、雲仙市教育方針の基本的な視点から市民の多様なニーズにこたえる体制づくり、あるいは、教育環境の整備を進め、市民一人一人が生き生きと学び続けることのできる生涯学習社会の構築を目指す。各町で開催されておりました文化祭を初め、地域に根差した行事等については、基本的には、今後も続ける。旧愛野町で行われていた、愛野ジュニアスポーツ大会については、雲仙市ジュニアスポーツ大会として実施をするほか、合併一周年記念の市民大運動会や、市民美術展等、雲仙市全体の行事を行い地域の人的交流とともに、スポーツ美術文化の振興を図る考えである。

自治公民館については、今後未組織地区の組織化を進め、市の自治公民館連絡協議会を立ち上げ、自治公民館長交流あるいは研修の機会等を作りながら、公民館活動の支援を行ってまいりたい。

館の有り方について伺いたい。



よしだ みわこ

吉田 美和子 議員

瑞穂町

男女共同参画社会へ向けて

吉田議員 平成十一年六月に

「男女共同参画社会基本法」が公布され、県においても計画が策定された。一、人権問題としての女性問題の解決。二、社会的・文化的に形成された性別に敏感な視点の定着。三、女性が力を発揮できる存在になることの促進。四、パートナーシップによる男女共同参画社会への実現。という四点を基本柱とされているが今後、雲仙市ではどのように取り組まれるのか。

奥村市長 市政のあらゆる分野において人権尊重、男女共同参画を基本的理念として取り組むため、平成十八年度は懇話会などを実施し幅広い意見の聞き取り、人材発掘への取り組みをし、平成十九年度において雲仙市男女共同参画基本計画の策定に臨みたい。

吉田議員 市長の所信表明文

中へのお尋ねを二点 少子高齢化問題について、女性の社会進出が進み結婚しなくなったこと、また結婚しても家庭に入ることなく仕事をし続けること、子供は産んでも少なく産んで…などの他に女性が頑張ってくれないと国家存亡の危機となると受け取られてしまいそうな表現。また「雲仙市には、すばらしい若者たちと女性たちがいます。その人たちを、ただそこに住むだけの人材から社会の財産になる人材へ育てていくためのお手伝いをさせていただく」という表現は、女性は男性がいくら上げた社会にただ住んでいただけの人：と思わせてしまう危険があるのでは。

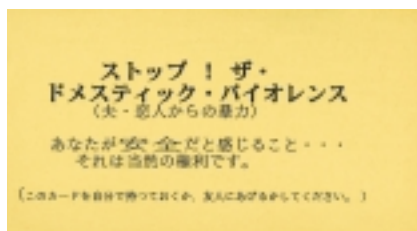
奥村市長 十二月定例会では限られた時間ということもあり、言葉足らずで誤解を与えたことをお詫びしたい。

吉田議員 雲仙市におけるDV（家庭内暴力）対策と市民への周知の取り組みは

奥村市長 言葉による精神的暴力も含めて被害者支援をしていきたい。福祉事務所内に相談窓口を設置している。また、ホームページや広報「うんぜん」四月号にも掲載予定。瑞穂町内で、制度の周知のため作っていたカードを雲仙市でも内容を検討の上、作成配布したい。

吉田議員 実際にカードを見て電話をかけてきた人もいると聞いている。自分が我慢すれば済むと思っている女性もいるが、暴力はふるう方が悪い。雲仙市でも、早く成果が

瑞穂町内の病院や美容院、婦人会の会合等で設置・配布されたカード



上がることを望みたい。

本年四月、雲仙市でもカードが発行されたことをお知らせします。

「食育」を考える

吉田議員 子どもには「食」を通じて健やかな成長を望み、大人には病氣予防、体調管理の面から雲仙市に正規の管理栄養士の採用を。

奥村市長 今しばらく検討する時間を与えてほしい。

鈴山教育長 給食を通した「食育」への取り組みでは、食文化や食事の大切さを伝え、あわせて、マナーが身につくよう指導をしている。

吉田議員 小浜町では栄養士の指導のもとに、三ヶ年間国保ヘルスアップモデル事業が実施され医療費が抑えられたと聞いている。長期計画的な健康増進を図るためにも管理栄養士の設置を強く望む。

奥村市長 できれば今会議中にも県警の方に参上し、皆様方の熱情を理解いただきたいと考えている。

雲仙市職員の
体調管理は

吉田議員 合併後も部署によつては激務の職員がいるようだが、職員の体調管理の取り組みや休憩場所の確保は、

奥村市長 二月には健康診断を実施し人間ドックの受診も奨励している。さらに毎週水曜日をノー残業デーと定め、早期退庁を促している。休憩所の必要性は承知しているが、現在、ふるさと会館の和室、管理人室を利用できないか検討中である。

駐在所廃止を
憂う

吉田議員 瑞穂町内から二つとも駐在所がなくなることを時代の流れかとも思うが自転車の盗難被害などに迅速に対応し、発見していただいたり平素から地域に密着した駐在所業務が、パトカーによるパトロールだけになることを不安に思う。

奥村市長 できれば今会議中にも県警の方に参上し、皆様方の熱情を理解いただきたいと考えている。



いわした まさる
岩下 勝
議員 瑞穂町

集落営農の育成支援について

岩下議員 農水省は、品目横断的経営安定対策が十九年から導入されるにあたり、集落営農支援への強化を示したが、地域リーダーの育成が重要と思うが、市の取り組みは

満たない集落への支援は

奥村市長 雲仙市の特例区は、小浜、千々石地区だけです。両地区以外は、集落営農で二

十ha、認定農業者で四haが必要で、認定農業者においては、規模拡大、集落営農においては、条件をクリアのため地域と関係機関が一体となって努力する必要がある。

奥村市長 雲仙市担い手育成総合支援協議会において、集落営農確保育成支援チームを立ち上げ、営農の推進とリーダー育成を行っていく準備中です。構成員は、市・農協・普及センター・農業委員会・土地改良区の関係機関と連携を深め、経営所得安定対策の説明会を通じて、集落営農の推進と、地域の核となる人材育成を国、県の補助金を導入しながら推進していきます。

岩下議員 国が定めた経営規模に満たない集落、経営安定対策での特例に



学校給食について

岩下議員 平成十九年、オープンを目指して、南部給食センターが千々石町に建設されます。完成しますと、雲仙市すべての学校で温かい給食が実施されます。子どもたちにとっては大変嬉しいことです。食材については、地元産を使用されると思うが。

鈴山教育長 野菜などは、使用できる期間は、地元産を使用しています。今後とも各センターでは、地元産で予算的な折り合いがつかぬものや、年間を通じて供給できるものについては、地元の業者を利用します。

給食費と滞納状況

岩下議員 各センターの給食費と、徴収方法、滞納状況については

鈴山教育長 国見、吾妻愛野センター、中学校四千四百円、小学校三千八百円、瑞穂センター、中学校四千三百円、小学校三千六百円、小浜・南串

山井当給食は、中学校四千四百円、小学校三千六百円です。十八年度は現状のまま、十九年度から一元化に向けて検討中です。滞納状況は、国見センター、四百七十万円、吾妻愛野センター、六百一十万円、旧小浜町二百二十九万円、旧南串山町十万円、瑞穂センターなし。平成十八年二月現在で約一千三百十万円です。

岩下議員 今後の対応はどうされるか。

鈴山教育長 二カ月を超えて徴収出来ない分には、督促状を発送し、長期未納者には、センターの職員が徴収に訪問している。学期間未納者については、センター職員や委員



中学校の弁当給食のようす

会職員、学校及びPTA役員の協力を得ながら家庭訪問による徴収を検討する。

岩下議員 瑞穂センターの関係者は、滞納金については合併までには何とかして徴収しなければと、大変な苦勞をされたと聞いています。他のセンターの職員の努力不足も感じますが、今後は職員一丸となって事業の推進に励まれ、滞納問題についても責任を持って対処していただきたい。



おだ こうめい
小田 孝明 議員
国見町

グループホームの火災について

小田議員 一月八日、大村市内のグループホーム「さくら館」の火災で入所者七名が亡くなり二名が負傷しました。

原因等について調査、検討されて二度と同じような惨事をおこさないように対処しなければなりません。雲仙市内のグループホームの指導はどうか。

小田議員 火災では初期消火が重要であるといわれるが消防署の初動態勢について。

奥村市長 火災や救急通報から出動まで一分台を目指し、一秒でも短縮するよう訓練を実施している。

小田議員 火災等の虚偽通報があるか。ある場合どう対処しているか。

奥村市長 過去二年間島原消防署北分署では無く、小浜消防署では火災二十四件、救急六件があつていいる。

奥村市長 市内二十二カ所のグループホームはもとより、周辺住民、地域消防団、消防署と昼間だけ実施している避難訓練を夜間にも行いたい。またグループホームにおける防火設備の設置、防火防災における危機意識や危機管理の徹底等関係機関と連携して指導にあたりたい。

今崎総務部長 悪質の場合は警察に相談している。

小田議員 大村の火災では消防車の出動が遅れたようだが、雲仙市は島原と小浜の消防署の二指令系統になっていることで初動態勢の出動が遅れることはないか。

奥村市長 島原と小浜の消防署と協議し境界地域については双方が出動態勢をとり支障がないようにしている。

小田議員 県は防火対策としてグループホームがスプリンクラー、自動火災報告設備、緊急通報設備や自動消火設備を設置する場合、助成する意向のようである。雲仙市内の

グループホームは安全であり、安心して入所できるといわれるように設備費の助成を実施する考えはないか。

奥村市長 前向きに検討させていきたい。



グループホーム「さくら館」(大村市)



島原消防北分署(国見町)



ますやま りょうごう

増山 良三 議員

小浜町

農業振興地域内農用地の不都合な状態について

増山議員 農業の振興を効果的に進展させる為に、県は市町村と協議の上、長期的視点に立つて農業振興地域を指定し、農用地を決定し、市町村にその振興整備計画を作成させるようになっておりますが、農家や農地所有者がそれに賛同できない場合や、実現可能な振興整備計画がない場合には、著しく不都合な状態となります。農業振興が進まないばかりか、規制の為に土地の有効利用が全く出来なくなります。

「小浜町では平成十三年四月各地区別に、農家や農地所有者に集まってもらい、農業振興地域のあり方や、今後の農地の利用方向に対しての意向調査を行いました。その結果富津・木津地区では土地の有効利用を図るべく、全面廃止、北野地区では一部水田地区を除いて同じ理由で大幅廃止の意向であった。そこで町当局は、県当局と何回か、協議を重ねたが、二十ha以上の集約的農地は除外出来ないとのことまで今日に至っております。

小浜町内には七十九名の認定農業者がありますが、この二地区には一名もいない実状であり、この二十年間は農家の知るべき農業整備計画は存在も、実施もありません。法の意向にそって、かけがえない貴重な土地を、より有効に活用してこそ地域住民

の意向にそった施策と思われるますが、規則だけが存在する状態は不法であり、放置できないことでもあります。」と。

奥村市長 …くわしく経過報告の後、白地地区隣接地の転用は条件を整えば可能である。県は国の施策にそって二十ha以上の集団地的農地はその中に耕作放棄地があっても大幅な見直しは難しい状況であり、全面除外は厳しい状態と思われる。雲仙市全体では全農地五、九二三haの内、農振地内農用地四、九六八haの中に耕作放棄地が二九五haあるとの報告がなされた。

増山議員 圃場整備が行われていない地区の農地に関する

数字は五年に一度の農業センサス時のものであり正確度に疑問があるので、もっと具体的な調査が必要ではないか。

東産業経済部長 私もそのように思うので農業委員会と相談の上、今後検討精査致したいと思っています。

巨木の森 「山嶺自然公園」の整備について

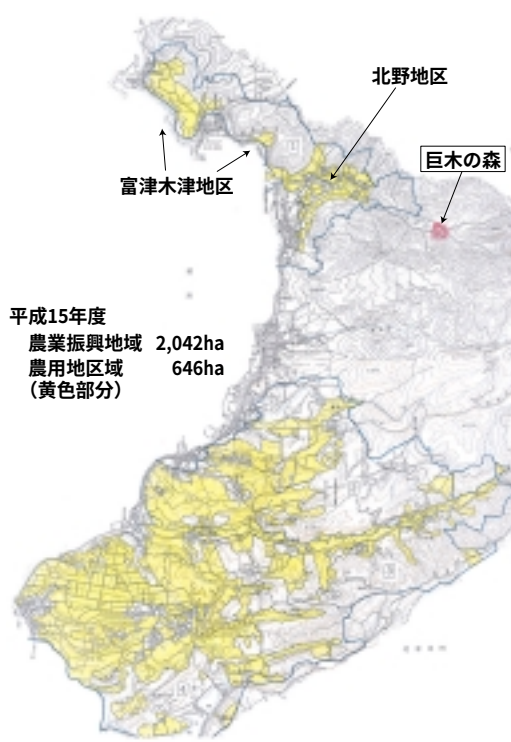
小浜温泉街から北へ三km、海岸から東三kmの谷間に三haほどの巨木の森があります。樹齢二五〇年以上のクスやタブなどの巨木で構成された森の中に、年中、きれいな泉が

湧き出ており、流域の水田を潤しています。巨木の神秘的な雰囲気は癒しの場として、地域の人々に親しまれていますが、台風十七号の折、数本の倒木があつてより、太陽光線が入り込み「かん木」が

自生して、人の通行が困難になっております。これを営林署から借り上げて、人々がもっと親しめる状態にしたいとの要望があります。小浜町で平成十五年に調査を実施し取り組むべき対応は行いましたが、進展のないまま今日になっております。子供たちが自然とふれあう場所としても大きく期待されるものがありますが如何思われますか。

奥村市長 この地域を広く憩いの場として活用を見出せるよう、森林管理署と協議をしたいと考えております。

その後市長は現場等を視察されたようであります。質問は何回となく応答をくり返しましたが紙面の都合上、要点のみ記載しました。





うへだ あつし
上田 篤 議員
瑞穂町

就学援助制度をもっと使いやすく

上田議員 経済的に苦しい家庭の小学生を救うものとして「就学援助制度」があります。全国的には百三十四万人がこの制度を利用しています

が、本市ではかなり低いようです。もっとこの制度を使ってもらおうにするべきではないでしょうか。

説明会時に、制度の説明を行っています。

上田議員 本市での利用者は、制度が知られていないために少ないのではないのでしょうか。小中学校の入学時の説明だけでは知らない人が多いのは当然です。

鈴山教育長 現在、小中学生合計で二百五十八名の生徒がこの制度を利用しています。国が定めた基準や単価で援助しています。各学校の新入学



ある小学校の「人権集会」

学校図書館職員の解雇は市長の所信にも反する

上田議員 本市では全中学校と一部の小学校の図書館に職

員が配置され、大きな成果が上がっていると思います。しかし、全国では図書館教育をさらに充実させようとする時に、本市ではすべての職員を解雇すると聞き、たいへん驚きました。「まちづくりは人づくり」という市長の所信にも反するのではないですか。

鈴山教育長 小学校では、新年度から二校に一名のスクー

につき一名の図書事務補助を常勤として配置します。

上田議員 図書館に職員が配置されている場合とそうでない場合では歴然とした差があります。スクールポーター制度だけでは、カバーできないのではないですか。

鈴山教育長 理想的には各学校に一名の配置が望ましいと思いますが、新年度は計画どおりに実施します。

適応児童教室を設置し、不登校児童対策を

上田議員 不登校児童生徒の支援施設として、各地に「適応児童教室」があります。学校に通えない子どもが、その施設に通い、そこをステップにして学校に復帰するという性格のもので、島原市の「ひまわり教室」で話を聞き、私はこういう施設がどうしても必要ではないかと思うのです。どうでしょうか。

上田議員 長期欠席児童は非常に少ないですが、表に出てこないものもあるのではないのでしょうか。実態をぜひ調査してください。また、これは子どもの一生にかかわる問題ですから、市としてもおおいに研究・努力することを強く望みます。

鈴山教育長 市内の長期欠席児童は小中学校の合計で十四名です。今後、適応児童教室」を実際訪問するなどして対応を考えます。

「クリーンセンター」の経費増はメーカー側に責任

上田議員 県央県南クリーンセンターにはメーカー責任と

す。それを明確にしないで市民にツケを回すことは許されません。



未来にむかってジャンプ！

金子助役 十七年度には当初の計画から四億円余の経費が増えました。予想を超えるゴミの搬入があったことなどが理由です。雲仙市として組合に言うべきは言っています。

公正な入札へ努力を

上田議員 対馬市では談合が大量件になっています。本市では入札に問題はありませんか。

奥村市長 入札参加者が一堂に会する現場説明会を廃止し、入札当日まで参加者が外部に漏れないような手法を講じています。第三者による入札監視委員会の設置なども考えています。



おぼた よしとき

小畑 吉時 議員

国見町

公有水面埋立事業について

どうなる埋立地

小畑議員 多比良港廃棄物処理埋立事業が、六年から始まり当初十年完成予定であったが、今まだ未完成である。地元負担、十八・七五%、十三年度で九億五千万円、現在十一億位の金額になると思うが、その後の経過は。

松田部長 多比良港外周の護岸工事千四百十mは、十三年度に完了したが、一工区において埋立完了土量百万立方メートルに対して七立方メートルが不足している。十八年度に一工区は完了予定であるが、二工区については、当面土砂埋立の用途がたない状況であることから改めて県に対し事業の推進を求めるとともに、その利用についても協議していく所存である。

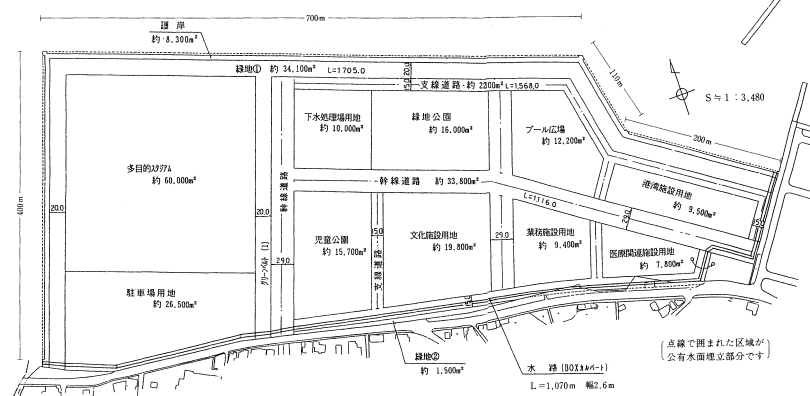
トラフグが5kgに

小畑議員 埋立の締切り後にトラフグ又はヒラメその他の稚魚が残り、三kgから五kg近くに育っていた。二工区は長期化するようだが、国、県に御願いし養漁場または釣り堀等の考えはないか。

奥村市長 議員指摘の釣り堀等も勘案し又、国見町はスポーツ振興の町であり、多岐な面から利用出来ないか模索している所だ。

小畑議員 平成十五年多比良港の浚渫改良を要望したがその後の経過は。

松田部長 港内の浚渫及び改良は県において十九年度の補助事業として予算要求を行う。



多比良港廃棄物処理埋立事業図面

改良は多比良、土黒漁協と連携して検討を図り県に要望を行っている。

多比良港の名称変更の考えは

奥村市長 多比良港は県の管理であり、県は港名を国見港に変更する考えを持っていると聞く、市としては多比良港の名に愛着を持つ市民も多数おられるので、広く市民の意

見を聴取するよう県に申し入れをしたい。

環境問題について

半島の地下水はどうなる

小畑議員 昨年有明町の井戸水から高濃度の硝酸性窒素が検出された。国の基準は10mgが基準であり、倍近くの濃度であったと聞く。雲仙市の地下水の現状は。

奥村市長 島原半島は指摘の通り地下水の深刻な汚染が進行し非常に危惧している。家畜尿、堆肥、化学肥料に含まれるアンモニア性窒素が土壌の中の硝化菌の作用で硝酸性窒素が出来るかと推測される。県においては昨年十月二十八日島原半島窒素負荷低減対策会議を設置し、汚染対策基本方針を定め今後、県・自治体・農業・畜産・住民一体となり井戸の衛生管理、不適の場合の市水道への切り替え、推進に取り組む考えである。

市の水質調査は

小畑議員 過去国見の、山の上、高下水源の窒素の濃度が高かったが、旧町の中に非常に濃度の高い所があると聞く。

現在市の水質状況は。

奥村市長 指摘の国見地区二ヶ所の現状は硝酸体窒素の濃度は低い数値で推移している。なお市の浄水場五十六ヶ所の内五ヶ所の原水について高い濃度が検出されているが、滅菌除去装置で浄化しており安全な水である。

メトヘモグロビン血症が心配

小畑議員 高濃度の硝酸性窒素を長く飲み続けると、メトヘモグロビン血症で乳児や妊婦が発症しやすいと聞く。これに対して対応は。

奥村市長 高濃度の硝酸体窒素を含む水を多量に飲むと赤血球の酸素を運ぶ機能がかわれ、メトヘモグロビン血症をおこし呼吸作用を阻害し胃酸の分泌が少ない乳幼児に影響があり、井戸水を使用し一歳未満の乳幼児がいる五世帯の水質検査を実施している。

小畑議員 硝酸性濃度の高い所はこの地区か。

松田部長 原水を浄化しており、家庭に届く時は安全な水である。場所は瑞穂小賀口、愛野鬼塚、愛野植松、愛野の原、南串山西部である。



もとむら やすかず

元村 康一 議員
小浜町

職員の給与格差解消について

元村議員 先の十二月議会において、現在の職員給与が旧町の格付によるもので、給与格差が生じている。非役付の四十四歳で最大約四万円の格差があり、格差解消に向けて調整すべきと思うがどのように考えておられるのかとの質問をいたしました。

それに対し、市長から昇格基準等の適用がまちまちであり給与格差が生じている事、全職員を対象に新市の昇格基準に照らし合わせて計算し調整するとの答弁をいただきました。給与格差を至急解消し職員が安心して職務に励める環境づくりが必要であると思っています。

そこで、現在の進捗状況について担当部長の答弁を求めます。

今崎総務部長 現在、旧町の人事台帳により旧町での昇格、昇給の一覧表を作成し、採用

時の履歴等に基づき前歴換算年数を整理する一方で、職員組合に対して給与格差調整について申し入れをし、一回目の提案を行い交渉を行ったところでございます。できるだけ早く給与調整に向けて引き続き努力を続けていきたいと考えております。

元村議員 ただ今の答弁で努力されている事は分かりました。給与の格差と合わせて、その額も大いに気になるところであります。と申しますのは、職員も当然生活をしていかなければなりませんので、極端に低いところですり合わせしたらなかなか厳しいものがあるはずですよ。職員のやる気、士気を維持するためには早急な格差解消と、ある程度の額の確保が必要だと思いますのでその点を要望しておきます。

スポーツ振興と低迷する観光産業活性化のための多目的ホールの建設について

元村議員 小浜町体育館は、昭和四十四年の長崎国体に合わせて昭和四十一年に建設完成されたものでありますが、築後四十年余り経過し老朽化が進み、過去に雨漏りや天井板の落下等があり、平成四年と五年に改修がなされたものの、何せ四十年前の建物であり非常に手狭であります。

これまで毎年、宿泊を含んだ九州少年剣道大会、参加者二、一〇〇人、全九州観光弓道大会約一、〇〇〇人等の各種スポーツ大会や宿泊合宿等が開催されております。

また、平成十三年にはミニ国体のボクシング会場、平成十五年は全国高等学校総合体育大会のボクシング会場となりましたが、この大会七日間の観客数は一七、三〇〇人で延べ宿泊者実数は一万六、三七八人でありました。

このような状況から、現状は参加者のニーズにこたえきれない状態であります。

雲仙市の基幹産業の一つで

あります観光については、現在、宿泊者数の小浜温泉、雲仙温泉の合計が、平成二年の一三五万六、〇二〇人をピークに、その後は毎年減少し、平成十六年は七二万三、一八

四人でマイナス四七・四一％と半分近くになっており、修学旅行にしましても、平成九年度は六二〇校、十一万一、九二六人でありましたが、平成十六年は二七七校、四万一、六一九人、マイナス六二・八二％と激減しております。

観光関係者は、観光客の誘致に積極的な努力をされておられますが、現状は非常に厳しい状況にございます。

多目的ホールが建設されるなら、市内北部地域との体育施設の均衡のみならず、スポーツ振興はもとより雲仙・小浜は全国的に有名な温泉地でありまして、これまでの各種大会開催に加え、九州大会規模の各種大会やイベント、会議、スポーツ合宿等による利用がかなり見込まれ、活性化に大きく貢献できるものと思っております。また、平成

二十六年に長崎国体が開催予定であり、是非とも会場地として指定されるよう対応を望みます。財政の厳しい状況も理解しておりますけれども、建設必要性の認識と実現に向

けた検討をしていただきたいと思います。

奥村市長 長崎国体の種目開催会場地として誘致活動に励みます。また、観光面から見ても九州全国規模のスポーツ大会や会議を誘致して、増客をめざす手法はまさに効果的でありまして、このような事から、市内に大型施設の必要性はあると認識しております。

建設に当たっては多額の費用を要するところであります。議員ご指摘のとおり、地元の方々の強い熱意も感じておりますので、今後どういった方法で実現できるのか、良質の補助金も含め、さまざまな情報収集に努め、議会とも相談しながら、より皆様方にご理解をいただけるような施設としての実現を前向きに努めていきたいと考えております。

元村議員 市長の気持ちは十分にうかがえました。実現が早期になりますよう、ご検討ご努力をお願いします。



しばた やすのぶ
柴田 安宣 議員
愛野町

市の活性化につながる工業団地の建設と企業誘致を

柴田議員 日本経済の三年連続の上昇気流の中、合併で生まれた豊かな水資源、地形、地の利、優秀な人材を生かすためには、工業団地の建設と企業誘致がぜひ必要と思うが。

奥村市長 企業のニーズに対応するため、本市の水資源、土地、人材、農水産物などの地域資源をもとに、県内でも優れた工場適地であることを力強くアピールし、企業の目を引きつける雲仙市独自の助成制度の検討もしております。

加工用生もの馬鈴薯の輸入自由化には敢然と反対を

柴田議員 加工用とはいえ

生もの馬鈴薯が輸入されれば雲仙市の農家は大打撃を受け死活問題であるので、敢然と反対すべきだと思うが。

奥村市長 現時点では、加工用に限り米国産馬鈴薯の輸入が解禁されておりますが、今後、長崎県および各関係機関と連携協議を重ね、輸入にかかる制度の強化など、国へ要望していきたいと考えています。

観光業と農林水産業が連帯した体験型観光の実現を

柴田議員 観光が体験型に変化している中で、旧七町の特色を生かし、棚田での田植え、稲刈り、農産物の加工など、色々な方法で農業と観光の活性化が図られると考えるが、また、冬場の観光対策として、漁業、ゴルフ場等の活用で四季を通じた観光の実現は、

奥村市長 今後、観光客誘致に向け体験、触れることのできる新たな資源の発掘、創造を行っていききたいと思えます。また、四季折々の魅力ある地域の豊かな資源と人材を活用した体験型観光を充実させ、国内はもとより、近隣外国からの観光人口、交流人口を増やし、地域経済の活性化を図ってまいります。

杉花粉症のない快適な生活環境への取り組みは

柴田議員 杉花粉症の対策として、国等では雄花株の伐採事業や、雄花がほとんど咲かない品種への植え替えを推進していると聞いている。島原半島は効果の上がりやすい地形だと思うがその取り組みは

東産業経済部長 島原半島内においても、以前から花粉の発生源である枝を切り落とす取り組みを実施しております。花粉を減少させることは長い年月を要するため、近隣の自治体や県とも検討を重ね、取り組んでいく所存です。

高速道路 国道、広域農道、市道の整備について

柴田議員 ①自動車専用道路が諫早から島原半島に入ってくると聞くが、その方向性の実現については、
②国道二五一号の愛野交差点改良と、愛野吾妻間の歩道の設置と千鳥橋の拡幅について、
③市内の人家密集地域における、救急車や消防車が通らない場所の点検と改善を大至急するべきと思うが。

松田土木部長 ①諫早市の尾崎交差点から愛野大橋の間は、現国道と島原鉄道との間に自動車専用道路を整備する現道併走案が示されました。今後、この道路と接続する島原側の道路計画の早期着手に向け、さらに強く要望してまいります。

②県の回答は、愛野交差点の改良は現時点で計画はないが、局部改良は考慮していききたいとのこと。また、愛野吾妻間の歩道の設置等については、国に対し平成十九年度新規採択の要望を申請予定

であると考えております。
③市全域での把握はできておりませんが、今後早急に調査、点検を実施し、国庫補助も活用し事業を実施してまいります。

柴田議員 広域農道の県道への昇格を実現して農振法等の規制緩和を図り、管理経費の節減を実現することで雲仙市の発展につながると考えるが。

東産業経済部長 この農道沿線の農業振興、地域活性化としての役割の二面性について、その機能が十分に発揮できるよう整理促進しつつ、県道昇格を念頭に、県管理農道としても視野に入れ、県に強く要望したいと考えております。



国道251号愛野交差点



あらき まさみつ
荒木 正光 議員
 千々石町

道路行政について

荒木議員 七町が合併し雲仙市が誕生しました。市民の交流を図るため市役所を中心とした道路網の整備が必要と思うが市長の考えは

奥村市長 本庁舎の建設の方向性の判断がなされていない現段階において、本庁舎を中心とした総合的な道路整備の指針を示すことは、極めて困難であると考えている。本庁舎建設についての方向性を見極めて、総合的な道路整備計画も並行して検討していく。

荒木議員 市庁舎が現在地であろうと合併協議で定められた位置であろうと、その時の市庁舎を中心とした道路網の整備を早急にすべきだと思う。道路は整備すると地域の活性化にもつながるので。

◎千々石町の中央部から、愛野展望台にかけて渋滞がひどく地元、通りがかりの方々も

困っている。

◎「曲がりの坂（千々石展望所付近）」の登坂車線は合併前から千々石町長を通じて国や県にも働きかけていたが、どの様になっているか。

◎曲がりの局部改修は十七年度中に改良すると聞いていたがどうなっているのか。

奥村市長 私は県議時代はバイパス推進であったので、バイパスの話をしてきました。登坂車線についての話が地元であることは聞いていました。

松田部長 質問は国道ですの後日国土交通省にお尋ねしたいと思っています。五七号のSカーブについても国土交通省の方に再度お尋ねしたいと思っています。

荒木議員 千々石、田代間の離合所を三十五箇所くらい造ると言うことで、十二箇所出た後は年次計画でとの事だったはどうなっているのか。

松田部長 千々石、田代間の離合所箇所は十七年において九箇所予定されているので、ご安心下さい。

荒木議員 県道千々石北の線は、木津、富津の生活産業道路であるとともに小浜、南串山と中心地を結ぶ最短距離路線であるので早急に二車線路に拡幅すべきだ。

松田部長 議員指摘の様な道路を調査し雲仙市としての緊急度順位等を作成した上で、計画的に事業を実施していきたいと思っていますのでご理解を賜りたいと思います。

荒木議員 共同施工（公共土木）の強化存続について幹線道路や中心地付近は、少々の補修ですすぐできるが、

町はずれや、田畑の周辺は整備ができないので共同施工等で対処するのが一番良い施策だと思ふ。

松田部長 合併協においては廃止となっていたが、新市において制度を変え実施する。

産業振興について

荒木議員 工場誘致をしても難しい。そんななか地元で多くの従業員を抱えて貢献されている雇用者に対して希望の持てるような政策をとるべきだと思ふ。

奥村市長 県や産業振興財団と連携をとりながら、商工業主、企業家の皆さんの要望にあった振興を図って行きたいと思ふ。

荒木議員 雲仙市は温暖で肥沃な大地の基で多くの農畜産物が生産されている。なかでも暖地用馬鈴薯の生産は日本一と言われている。そのような特産品を維持するため客土をしながら頑張っていることに対して旧千々石町、旧愛野町は助成をしていたが雲仙市としても継続してほしい。



じゃがいも掘り

東産業経済部長 農業活性化ブランド品目確立の中で馬鈴薯生産振興対策として予算を組んでおります。

県営バスについて

荒木議員 県営バスが来年四月をもって島原半島から撤退すると聞き心配している。国道に近い地域は島鉄バスの利用も可能だが、通学バスとして運行していた千々石町の岳下峰方面、小浜町の木津、富津等は通学通勤に支障のないようお願いします。

鈴山教育長 存続に向けて協議をしてまいりたいと思ひます。



国道57号（千々石町）



まえだ さとし
前田 哲 議員
国見町

市職員の意識改革、士気高揚対策は？

前田議員 合併後本庁舎には各旧町から職員がそれぞれ集まり、各部、課に配属され人間関係のうすい中で、合併前の仕事、旧町の仕事、スタートした雲仙市の仕事と多岐にわたる煩雑な中でスタートした。職員に戸惑いと士気の低下が感じられる。雲仙市職員としての意識改革、士気の高揚が必要である。その対策はどのように考えているか。

四月は、通常人事異動の時期である。合併でスタートしたばかりだが通常の人事異動を考えているのか。

職員の意識改革、士気高揚策として、意識調査を実施し、個々の希望、能力、やりたい仕事、チャレンジしたい仕事などを聞き取り、適材適所に配置するのが効果的と思うが、その考えはないか。

従来の年功序列制度を見直したい

奥村市長 職員の意識改革については、職員一人ひとりが、全体の奉仕者であることを自覚し、市民の視点に立って前例主義、縦割り主義にとらわれないよう取り組ませる。士気高揚を図るため、従来の年功序列制度を見直し、能力、実績、意欲をより適切に評価し、反映した人事配置が必要と考える。

四月の人事異動は、小規模なものにする。



やる気を起こさせる動機づけが必要

べきである。

前田議員 若い職員のやる気を起こさせる動機づけについてはどうか。

部下のやる気のある、なしは、上司である部、課長の責任であり部、課長はみずから笑顔、やる気、元気を見せる

やりがいのある職場をつくる

奥村市長 自立した地方自治の時代となってきた。職員が、

みずから考え、みずから行動する時代を迎え、住民の方々と密接につながり、住民の希望に答えられるよう職員の意欲や考えを行政に反映できるやりがいのある職場としていく。

常任委員会報告

総務

総務常任委員会に付託された七件について三月十六日審査したのでその概要を報告します。

雲仙市名誉市民条例

質疑●前回、撤回したのに今回も上程してある。なぜ急いで制定しなければならぬのか。時期尚早の気がするが、その点の考えについてはどうか。

答弁●雲仙市の体制を整える観点から必要である。

雲仙市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

雲仙市有財産の無償譲渡の二議案

質疑●登記者は自治会長名か代表名になることだが、代表者が変わるごとに変更しなければならぬのか。

答弁●地縁団体の認可を受けているので、団体の代表者で登記をするが、地縁団体の土地という事で名前を入れる必要はなく、変更する必要はない。

質疑●個人が地縁自治体に寄付行為をしたら地縁団体に受

けることが出来るのか。

答弁●受けることが出来る。

雲仙市の区域にあらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更

質疑●県と漁業組合との貸借関係はどうなっているのか。

答弁●遊漁船の登録等について神代漁協が一部委託を受けている。

平成十七年度雲仙市一般会計補正予算(第二号)案

質疑●一人暮らしの方から小さいゴミ袋の要望があっているがどうなっているか。

答弁●可燃物のみ十八年四月から販売する。

質疑●地方バス路線維持対策補助金については十八年度も補正で確実に計上できるようにするための努力が必要だが、計上できるのか。

答弁●十八年度までは県営バスが運行するので予算が必要である。十九年度が予算化できるかが問題であり、県に要望していく。

平成十八年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算(案)

質疑●多くの市民に快適な温泉に入ってもらうため、源泉使用料の見直しを含め検討す

べきではないか。また、利用者が農協の駐車場に止めて迷惑をかけている。駐車場を確保すべきでは。

答弁●使用料と源泉の量とは関係がない。使用料の金額については今後、検討をしていく。また、合併後利用者が三千人増えており、快適な風呂に入っていたかどうか対策を検討していきたい。

駐車場については、農協には止めないようにとの注意書を張り出しており、夕日の広場駐車場を確保し、町内浴場利用者との均衡も加味しながら百円程度を負担していただくよう考えている。

以上、七件原案どおり可決しました。

教育厚生

教育厚生委員会に付託された九件について三月十六日審査したのでその概要を報告します。

雲仙市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例

質疑●委員の「定数五人以内」というのは、介護保険の認定審査会等と比較すると少ないようだが、その定数の根拠はなにか、どういふ方が委員の候補か。

答弁●対象者が介護保険と比べ少ないこと、近隣の他市の状況を考慮の上であること。また、候補については医師、保健関係、福祉関係から選出予定。

質疑●六つの障害区分になっているがどういふことか。

答弁●「自立支援法」の目的である施設からできるだけ社会にもどす観点から、細区分し、段階的に措置をとってある。

【意見・要望】法の内容についてはパンフレット等を配布し、疑問点などを市民が尋ねたい事項は気軽にサービスできるような配慮を願いたい。

雲仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例

質疑●旧七町でばらつきがあった税額を、新年度において調整し妥当なラインを示したものと解釈してよいのか。

答弁●そのように調整している。

質疑●収納率が低くないか。

答弁●現在の率より下がり気味の状況で厳しい現状だが、今後、これより収納率をあげていきたい。

質疑●他市との比較ではどうか。

答弁●諫早市は低く、納税組合があるところはかなり高い収納率である。

質疑●滞納の徴収に関して、

事前の心構え、打ち合わせ等は十分行っているのか。

答弁●徴収係、徴税係ともに、関係する研修会、ミーティングを受講させている。

雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

質疑●住所の特例については他にも施策があるのか。

答弁●老人ホーム入所者関係で適用がなされている。

平成十七年度雲仙市一般会計補正予算(第二号)案

質疑●小学校費で工事請負費が二億三千五百九十九万五千円計上されているが、経緯と根拠、また、耐震強度や問題になっている偽装など留意されているか。

答弁●旧吾妻町で平成十六年度から、すでに基本設計から調査まで済んでの予算計上である。

【意見・要望】建物工事は金額が安ければいいという問題ではないので、設計、強度等には配慮願いたい。

質疑●乳幼児医療費の扶助費(福祉医療費)の申請等について、制度の未申請者への周知、広報等どのようにしているか。

答弁●申請は五年間さかのぼり請求可能であること、また、

年一回広報紙を通じて制度について周知を図る。

質疑●児童運営費で国庫、県費の返還金の内容は。

答弁●小浜の保育所で廃園となった箇所の利用方法で、今後福祉目的に利用する方向で検討中である。

質疑●食の自立をうながす目的での配食サービスは、今後市内で、どの程度実施予定か。

答弁●弁当の内容、単価、人件費等の問題もあるので、検討しながら、市内全域に実施予定である。

平成十七年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）案

平成十七年度雲仙市と音場特別会計補正予算（第一号）案

平成十八年度雲仙市国民健康保険特別会計予算（案）

質疑●旧町で行われていた健康教室等に参加されていた方についても、「ヘルスアップ事業」の中に入れて実施できないか。

答弁●この事業では、要指導レベルの方々を対象とした事業であるため、現時点では未定であるが、今後、健康づ

くり事業推進の中で検討したい。

【意見・要望】ヘルスアップ事業を継続していただくためにも、管理栄養士を配置し、より強力に推進してほしい。

平成十八年度雲仙市老人保健特別会計予算（案）

平成十八年度雲仙市と音場特別会計予算（案）

質疑●収入の「と畜場使用料」と「解体手数料」の内容は。

答弁●施設そのものの使用料と、解体に要する手数料である。

質疑●問題になっているBSEの全頭検査については、どこで行っているか。

答弁●検体を雲仙市食肉センターで採取し、諫早市の諫早食肉衛生検査所へ搬送し検査している。

以上、九件原案どおり可決しました。

建設

建設委員会に付託された九件について三月十七日、審査したのでその概要を報告します。

市道の路線廃止

工事請負契約の変更

質疑●足場工を組むことは最初から想定できなかったのか。

答弁●この足場工は想定できなかったもので、今回、契約変更をお願いした。

【意見・要望】工事を行う場合は、事前に調査をして万全の体制で工事をしてもらいたい。

平成十七年度雲仙市一般会計補正予算（第二号）案

平成十七年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）案

質疑●施設費、施設整備費の補正減額が大きいがなぜか。

答弁●入札結果の執行残である。

質疑●水質検査委託料の百万円減額の理由はなにか。

答弁●当初予算を多く予算計上していたためである。

平成十七年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第一号）案

質疑●吾妻地区環境公共下水道費の保全処理施設維持管理業務委託料の百五万八千円の

減額の理由はなにか。

答弁●当初は四月一日から供用開始の予定であったが放流管設置の関係で、供用開始時期が八月一日にずれため減額となった。

質疑●吾妻地区特定環境保全公共下水道費の工事請負額が約二千八百万円減額となっているが理由はなにか。

答弁●国土交通省の指導では、当初下水道管の敷設は二m以上の埋設となっていたが、その後の指導で一m位の埋設でよいとなったため、その差額が執行残となった。

平成十七年度雲仙市水道事業会計補正予算（第一号）案

平成十八年度雲仙市簡易水道事業特別会計予算（案）

質疑●水質検査手数料・検針委託料が各町違うがなぜか。

答弁●水源地が五十四箇所あり各町検査する箇所数が違うため。

質疑●南串山簡易水道の委託料が十七年度補正予算では六百万円から百万円減額となっていたが、本予算では約六百万円が計上されているがどうなっているか。

答弁●南串山町では新たに箇所が増えたために増となった。

質疑●水質検査手数料が役務費に計上されているがどうしたか。

答弁●平成十七年度までは予算計上が各町まちまちであったが、今回統一して役務費となった。

質疑●総額六億五千万円の中で、一般会計繰入金金が二億八千万円となっているが、平成十八年度予算計上時、企画財政部との協議の段階で、繰り入れについて何もなかったのか、

また、水道料金の統一化についての協議はなかったのか。

答弁●予算査定の段階で話はあった。

【意見・要望】水道事業は、時代の変遷とともに検討しながら改善していくことが大事であり、今後、努力をお願いしたい。

平成十八年度雲仙市下水道事業特別会計予算（案）

質疑●吾妻地区と瑞穂地区の工事請負費の予算が約4億の差があるがなぜか。

答弁●瑞穂地区においては、平成十七年度債務負担で発注している電気設備の分が入っているの差がある。

平成十八年度雲仙市水道事業会計予算（案）

雲仙市公共土木事業補助金交付要綱(案)

【質疑・意見・要望】計画書の提出期間が一ヶ月となっているが、市民への周知はできるのか。

補助率は、総事業費(出来高)の何%ということはできないか。八月に申請した場合、翌年度の何月頃、許可を出すのか。

補助基準の経費の合計額が低すぎないか。

各町の公共土木の状況はどうであったのか。

生活道路と市道は狭いところもあるが、役所の方でやるということであれば分かりやすいがどうか。

予算以上に申請があった場合については、どういったところを優先にやるのか。できなかった場合翌年に廻すのか。土木の予算を産業経済の方で一本化してはどうか。

拡張のみで三以上ある道路の補修はできないのか。

【答弁】今回審議した内容、委員の意見を踏まえて、今後、更に検討したい。

雲仙市道路維持管理業務委託募集(案)

【質疑・意見・要望】二人の二班体制で七町市道の維持管理が十分できるのか。

平日は全て出勤するとなっているが、箇所をどう設定するか。

一班二名となっているが、三名が良いのではないか。

産業経済

産業経済委員会に付託されました、継続審査中の請願第二号、また、議案三件について一月三十日及び三月二日に請願第二号、議案三件を三月十七日に審査したのでその概要を報告します。

アメリカ産牛肉の輸入禁止を求める請願書

請願人在住の町及び近隣の市町への提出はなく、本市のみへの提出でありました。

本委員会では、市担当部局JA島原雲仙農協及び各種関係団体の考え、意見について文書による報告を求め、慎重に審査した。

その結果、このまま輸入禁止が長期化すると価格の高騰化により牛肉離れが懸念されるなどの意見がありました。が、現状では、政府は再び輸入禁止としており、市民の食の安全を考えると輸入禁止は必要であるとの意見がありました。願意は妥当であり採択しました。

した。

平成十七年度雲仙市一般会計補正予算(第二号)案

【質疑】和牛の肉牛素牛預託事業金利償還助成事業について今後どんな制度を考えているか。

【答弁】この制度は枝肉部会守山支部、千々石支部において和牛の肉用牛購入時に借入金の子補給に対する助成があったものであるが、合併により瑞穂町開拓農協にも助成することになると市全体の助成額が試算により約千四百六十万円かかることから、市民からの要望が多いが今後、検討していきたい。

【質疑】漁業研修生受入対策事業について、受入の増数、他地域での受入拡大をする考えはないのか。

【答弁】本年は六名を受け入れており、漁船が五経営体あり一漁船当たり二名となり十名が最高である。また、それぞれ受入側の経営体の事情により人数が増減する。地域の拡大については、漁の種類により規制がかかっているため、他地域においては難しい点がある。

【質疑】愛野一本松地区及び小浜木指地区農道整備の用地交渉に対する各地区での推進協議会の設立状況についてはどう

うか。

【答弁】愛野一本松地区については、約十五名の推進協議会が設置されている。小浜木指地区については、正式な推進協議会ではないが関係自治会長の方々により推進をされている。

【意見・要望】原則的にはすべての用地について同意を得てから着工すべきであるが、原則は原則としてある程度工事を進めていただくことも必要ではないか。

平成十七年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算(第一号)案

【質疑】補正により約三千五百万円も減額するということはどのような予算の計上をしているのか。

【答弁】景気により大きく変化すること、努力目標としての予算計上をしているが、今回は見込み通りにならなかったため減額することとなった。

【意見・要望】観光課職員による予算計上では理解できる部分があるが、現場の望洋荘職員による予算計上であるので理解できない。今後についてはよく検討してほしい。

平成十八年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算(案)

【質疑】財政調整基金より千五百万円の繰り入れがあつていますが、旧小浜町時に投資的な繰り入れであればよいが人件費への繰り入れについてはしないと小浜町の時に約束をしていたが、どのようにしているのか。

【答弁】査定時において予算不足が見込まれるのであれば、財政調整基金の繰り入れをすべきであるとの指摘を受け、繰り入れしている。

【意見・要望】平成十八年度において何らかの具体的な改革対策をとらないと今回の予算は認めがたいとの意見のほか、基金が残っているうちに抜本的な対策をとるべきではないか、指定管理者による民間委託を考へるべきである。検討委員会等の立ち上げも必要ではないか。宿泊をやめ、休憩のみにして貸切部屋を考へてはどうか。

【反対討論】財政調整基金の繰り入れについて、建設目的の繰り入れではなく、人件費の補充のため繰り入れしていること、更には何らかの改革および対策が見えてこないの賛成できない。

採決の結果、賛成多数で、原案どおり可決しました。

第1回定例会で審議された案件と結果

区 分	事 件 名	議決結果		
条例議案 6 件	雲仙市名誉市民条例の制定について	原案可決	全員賛成	
	雲仙市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決	全員賛成	
	雲仙市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の制定について	原案可決	全員賛成	
	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決		賛成多数
	雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成	
	雲仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決		賛成多数
議員提出議案 2 件	雲仙市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成	
	雲仙市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成	
予算議案16件	平成17年度雲仙市一般会計補正予算(第2号)案他13議案	原案可決	全員賛成	
	平成18年度雲仙市一般会計予算(案)	原案可決		賛成多数
	平成18年度雲仙市国民健康保険特別会計予算(案)	原案可決		賛成多数
その他18件	小浜地区保健環境組合を組織する地方公共団体の数の減少とこれに伴う規約の変更について 他17件	原案可決		
	雲仙市固定資産評価審査委員会の補欠委員の承認について	原案可決	全員賛成	
人事案件10件	固定資産評価員の選任について	原案可決	全員賛成	
	人権擁護委員候補者の推薦について(8件)	原案可決	全委員の推薦に異議なし	
	アメリカ産牛肉の輸入禁止を求める請願	採択	全員賛成	
決議案 1 件	雲仙市議会議員の政治倫理に関する決議	原案可決	全員賛成	
選挙 1 件	県央広域圏西部地区塵芥処理一部事務組合議会議員の選挙	原案可決	全員賛成	

賛成



討 論



反対

深堀 善彰議員／高齢者の国保への移行や介護給付金などの増加により、医療費負担が増加する一方で、住民所得の減少などにより、国保税収の低下となる。国保財政が厳しく市民の暮らしが大変なとき、誰もが安心して公的医療を受けることができる雲仙市の国保制度を守るためには、どうしても必要な改正である。

**国民健康保険税
条例の一部を
改正する条例**

上田 篤議員／国保税は高すぎる。滞納が多いが、ほとんどは払いたくても払えないものだと思う。今回の改定でも改まっておらず、滞納は増えると思う。これでは市民の命や健康を守ることはできない。

町田 義博議員／総体的に窮屈で厳しい予算が含まれている。新しい新市の予算の中で、継続事業ということの足かせも含め新しい事業も含まれているので妥当と認める。

**平成18年度
一般会計予算案**

上田 篤議員／学校図書館職員の解雇、図書費のカットなどは大問題。高い介護保険の軽減策もない。健康診断の有料化、高い国保税では健康不安が増す。市の財源確保のための努力・工夫が足りない。

深堀 善彰議員／本市の国保事業の安定的な運営を図ろうとするものである。合併後の雲仙市の社会情勢を踏まえて、適切な対応をし、積み上げられた予算であると判断する。

**平成18年度
国民健康保険
特別会計予算案**

上田 篤議員／この予算では滞納者が多数出る。厳しい取り立てばかりではサラ金、ヤミ金と同じになってしまう。「市民の命」を守るという市長の施政方針の立場での努力を求めながら反対する。

井上 武久議員／人事院勧告の指導に基づいて、職員が長い時間をかけて十分審議された案件であると考えている。

**一般職の職員の
給与に関する
条例の一部を
改正する条例**

上田 篤議員／こんなに大事な議案を議会最終日の審議もできない時に出してきたことは納得できない。また、公務員の賃金引下げは地域経済の停滞にもつながる。地域切り捨て策の一環でもあり反対する。

「雲仙市議会議員の政治倫理に関する決議」を全会一致で可決

報酬の減額について（発議 6 号）

区 分	報酬月額	減額率	減額後の額
議 長	430,000	20%	344,000
副 議 長	361,000	20%	288,800
議 員	344,000	5 %	326,800

本市議会は本年二月九日・十日、昨年一月に市町合併をした熊本県宇城市・山鹿市を訪問し、両市の議会運営等を研修致しました。その時の懇親会で、議員にあるまじき不適切行為として新聞等の報道となり、市民の皆様への信頼をそこない、多大なる迷惑をおかけしたことを深く反省しながら、協議を重ねてまいりました。

市民の皆様の叱責や注意指導を神妙に受けとめて、三月二十四日、発議五号・六号にて以下の決議を致しました。

雲仙市議会議員の政治倫理に関する決議

われわれは、市民から市政に関する権能を信託された代表であることを自覚し、市議会議員としての良心と責任を持って政治活動を行い、いやくも市民の信頼にもとることがないよう務めなければならない。

われわれは、ここに、市民の期待に応え、良心と責任ある活動を行う決意を表明し、もって、議会制民主主義の健全な発展に資することを決議する。

一 われわれは、市民の信頼に値するより高い倫理義務に徹し、政治不信を招く公私混同を絶ち、清廉を持ち、市民の非難を受けないように常に良心に従い、行動しなければならない。

一 われわれは、市民に責任を負い、その政治活動において誠実かつ公正に職務を行うとともに、われわれの言動のすべてが常に市民の注視の下にあることを認識しなければならない。

一 われわれは、市民全体の代表者として、全体の利益の実現をめざして行動するとともに、特定の個人、企業、団体等のために公共の利益をそこなうことがないようにしなければならない。

一 われわれは、政治倫理に反する事実があるとの疑惑をもたれた場合には、自ら誠実な態度をもって疑惑の解明にあたるとともに、その責任を明らかにしなければならない。

一 われわれは、議員本来の使命と任務の達成のため積極的に活動するとともに、市民の代表として品位を磨き、高い識見を養わなければならない。

以上、決議する。

平成十八年三月二十四日

雲 仙 市 議 会

お詫びと訂正

前号の記事の中（十二ページ）の、小畑吉時議員の一般質問中、写真説明で、オキチモズク（国見町釜蓋川）を、オキチモズク（国見町土黒川）と記載していました。お詫びして訂正いたします。

編集後記

議会だよりも今回で第三号の発行となりました。季節の移りは早いもので、三月の定例議会中は雪の降る寒い日もありました。議会だより発行の準備の際は、桜の花も満開になり花見シーズンとなりました。

今回の発行に当たっては二十六名の各議員が一般質問をし、雲仙市の発展と住みよいまちづくりのため、活発な質疑応答が行われました。広報委員会としては予定よりもページ数が増え嬉しい悲鳴であり、紙面の確保に努力しました。

次回も活発な質問、意見が出されるよう期待して編集後記と致します。

(S・M)

議会広報編集特別委員会

◎増山良三
○森山繁一
佐藤靖弘
松尾文昭
吉田美和子
原田洋文
上田篤
進藤一廣